

第三 内地貿易 (貨物)

本品の主なるものは牛骨で、内地に於て骨粉に製造せられ、煙草及稻肥として、殊に南九州地方の氣候土質に好適なる爲同地方に於て独自の需要を有し歡迎せられるが、本年は支那産骨粉の入荷良好から減退を免れなかつた。  
 (ニ) 米 糠  
 本品は内地に於ては主として配合肥料の原料として、逐年出増の狀勢にあるが、本年は硫安肥料の消化良好から、取引減退を告げた。

移出肥料仕向地別數量價額二年比較表

仕向地	數量 (百斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	二二,五五五	八四,八六〇	二七,六七五	一〇三,八三〇
神戸	二八,一九三	三七,三〇〇	九八七	六九,二〇四
名古屋	二,四八八	八四四	一,五七四	九,一七〇
横濱	—	五〇〇	—	—
東京	七,六六八	五四,〇四二	—	六,二五七
教賀	三,二八六	七,九六九	—	一〇七,三
下關	一五七,七九九	七〇,一〇三	—	一九五,三三三
門司	一七,六三三	二,六八六	四,九四七	二八,二九九
博多	一,七三三	二,四五六	七三三	一,八三七
増減 (△)				

長時	數量 (百斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
其計	一一,五四六	一五,三二五	一五,七六九	一五,三二五
他時	二〇,一七〇	三三,八二三	三九,九二三	二九,九五六
増減 (△)				

肥料平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
乾鰯 (二等合格品)	百斤	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
鱈槽 (同)	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鱈槽 (同)	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鱈槽 (同)	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鱈末	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
糖 (並)	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牛骨	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(三) 移入貨物

當港本年の移入貿易額は一億五千八百一萬餘圓で、前年に比し三千二百六十四萬餘圓の増進を示した。右の増進は輸移出貿易の躍進、米、棉等農産物價の昂騰等に依て、一般消費力の増大に加ふるに鮮内産業の發展、各種企業の勃興に伴ひ、生産原料品或は事業材料品等の、入荷好調を呈すると共に、一面滿洲國仕向仲繼貿易増進の外、當港を中心に、内鮮間小型發動機船

第三 内地貿易 (貨物)















物	其他	方碼
天竺布	三二七、八四三	三二六、二六〇
白木綿	三、二六四、三三三	三、二二六、八二一
綿帆布	五五、四四六	一一六、〇八三
★ブリン	七四一、〇三三	五〇三、九二九
小倉織	九七五、二二八	一、〇七〇、一六五
綿モスリン	八三三、〇四四	一、〇九七、三二九
色金巾	一、一五〇、三一一	一、〇〇五、四一四
色木綿	三九七、〇九七	三六六、三九九
縞及耕木綿	七九六、四四二	一、〇七二、六〇〇
ジーンズ	一、六四七、一三九	一、四五四、六四五
太綾布	五、五三九、九六八	五、〇一一、六五三
綿襪子	一、四一八、四四八	一、〇一五、一七九
鮮人向擬麻布	一、九二一、一一〇	二、一八三、七六五
其他	八、二二二、五六九	六、二四一、五三六
計	四、三三六、五五五	三、八一四、六六一
麻織物	七三六、六〇九	四三三、九四一
毛製羅紗	五九八、四四三	四四一、四五四
及セルヂス	二四、一五九	二二、八二二
毛製羅紗	八三三、三六九	八一九、五五八
及セルヂス		
織物		
モスリン		

物	其他	方碼
網織物	一、六三三、六八八	一、四五五、四八六
襪子及襪子	九九、三四七	一、四六四、二二
羽二重	五九八、四四三	三三九、〇五五
甲斐絹	六、二二五	二、八三三、〇一一
縮緬	三、四九、二五三	三、三三、二八九
倭素及永絹	一、〇四三、三三三	一、三三、五五五
熟素及永絹	八、二二二	四、九六三
官紗、紗及絹	四四、三三三	四六、三九七
富士絹	六、九三、〇五〇	六、〇三、〇三二
銘仙	一、六三三、八二八	一、七三三、二五七
其他ノ純絹布及純絹交織布	三七五、七四一	三二七、七八七
純絹及人造絹交織布	一、四三〇、〇三七	八九七、七六九
人造絹布	六、〇八八、三九三	五、六八六、三三七
其他ノ人造絹交織布	三三八、八五三	八八、一五七
計	一〇、一三三、九三三	八、四八一、三四九
綿浴巾		
蚊帳		







第三 内地貿易 (貨物)

品名	計	塊及錠	線	其他	鉛	錫	眞鍮及青銅	其他ノ金屬	洋鐵釘	釘其他	電線支柱及電線支架用材料	電線支架用材料	家屋建築用材料	橋梁建築用材料	絶緣電線	工匠具、農具及同部分品	金庫及貨幣匣
其他計	八六三、六八六																
塊及錠	三九、三三〇																
線	三三、九四六																
其他	五〇五、四一〇																
鉛	二九、九九〇																
錫	一一、三三一																
眞鍮及青銅	九、九〇三																
其他ノ金屬	二五、八四三																
洋鐵釘	一、七七一																
釘其他	一、七七一																
電線支柱及電線支架用材料	三、二〇六																
電線支架用材料	一、一六四																
家屋建築用材料	二、〇四三																
橋梁建築用材料	一、九七一																
絶緣電線	九、七六二																
工匠具、農具及同部分品	六、八八二																
金庫及貨幣匣	一、〇〇五																

第三 内地貿易 (貨物)

品名	計	同	噸	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
ストープ、ラヂエトル同部分品	九三、七六一																	
鐵鍋及釜	一、七七一																	
珐瑯鐵器	一、七七一																	
其他ノ金屬製品 (別號ニ掲ゲザル)	五、八九六、六八七																	
時計及同部分品	三、四九、四〇四																	
度量衡器	一、七七一																	
醫療器類及同部分品	一、七七一																	
製圖器測量器及同部分品	一、七七一																	
寫真器及同部分品	一、七七一																	
著音器、樂器同部分品及附屬品	一、七七一																	
電信、電話器及同部分品	一、七七一																	
銃砲及同部分品	一、七七一																	
鐵道車輛及同部分品	一、七七一																	
自動車及同部分品	一、七七一																	
自轉車及同部分品	一、七七一																	
汽船	一、七七一																	
帆船	一、七七一																	
機械類	一、七七一																	
汽罐同部分品及附屬品	一、七七一																	







第三 内地貿易 (貨物)

全計	小間物及化粧品				文房具				其他ノ諸品				小包郵便物				旅客携帶品			
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
1,188,101,211	754,787	2,991,235	21,777,777	2,838,418	90,314	1,188,101,211	1,351,516	3,336,146	1,188,101,211	1,351,516	3,336,146	1,188,101,211	1,351,516	3,336,146	1,188,101,211	1,351,516	3,336,146	1,188,101,211		

備考 小包郵便物には織物の分を含まず。

次に當港本年の移入貿易額を仕出港別に調査するに、大阪依然覇を握り其額六千三百八十萬餘圓を算し、次に東京一千四百九十餘萬圓、神戸一千二百二十餘萬圓、下關七百九十餘萬圓、名古屋六百餘萬圓、博多五百九十餘萬圓、門司三百餘萬圓、横濱二百五十餘萬圓、長崎、台灣各一百十餘萬圓等の順位で、前年に比し、棉花、鐵道車輛等の不況に拘らず、綿糸布、洋服、肌衣、鐵鋼類、自動車、機械類等好況なりし大阪の増進、一千二百四十餘萬圓を最大とし、次で東京は、大阪同様鐵道車輛に減少を見たが、礦油、自動車、機械類等の入増を主因として、三百十餘萬圓を増加し、下關は柑橋類、生護謨、硫安肥料等の好轉から二百九十餘萬圓、名古屋は綿糸、陶器、機械類等の好況に依て一百五十餘萬圓、博多も麥酒、燈油等の不振を護謨底綿靴、打綿、石炭等の好勢に依て補ひ尙一百四十餘萬圓、又門司は爆發藥、セメント、横濱は自動車取引好況を呈し、前者八十九萬餘圓、後者六十八萬餘圓、其他長崎は綿糸、燈油、臺灣は米及鹽の増入に依り、各三十餘萬圓を一齊増加した外、小包郵便物二十八萬餘圓の増進を示した。左に仕出地別移入貿易額二年比較を掲げ、其の重要なものに就き、消長其他を概説する。

移入貿易額仕出地別二年比較表 (四)

仕出地	貿易額		仕出地	貿易額	
	昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年
大阪	六三、八〇九、四九六	五二、三三九、八六三	門司	三、〇三二、八九四	二、一三三、九三三
神戸	一一、三三〇、六八七	九、八九一、三三三	博多	五、九八一、三三七	四、五九一、八三七
名古屋	六、〇四九、六八〇	四、五四三、一七七	長崎	一、一三三、四九九	八六六、八六九
四日市	三、五九一、三六七	一、九一四、二二四	臺灣	一、一六七、二九九	八五七、六八五
横濱	二、五五五、一〇九	一、八六五、四七七	其他	三五、八六三、七二五	二八、六九三、〇〇一
東京	一四、九九七、一五三	一一、八二八、〇三三	小包郵便物	三、九七五、三七四	三、六九〇、四一四
敦賀	一九、九七五	一四、六二六	合計	一五八、〇一九、三三三	一三三、三七七、一四六
下關	七、九六三、七〇八	四、九八三、九七四			
増減(△)			増減(△)		

● 移入重要品

大麥及裸麥

鮮人補充食料として又幾分内地人混食用として、需要せられる本品は、勿論鮮米との値開關係に依て、入荷に消長を來すを例とし、本年は米價高の爲入荷促進の狀勢に置かれたが、春來滿洲粟の大量取引に依つて、市場全く壓迫せられ、且つ、米價

第三 内地貿易 (貨物)



高に伴ふ麥價の昂騰から、豫想外消化不良の結果、取引不引合に了り結局減退を呈した。尙本品中の玄麥は九州、對州地方より、白麥は四國、中國地方より移入されたが、就中熊本の玄麥、坂出の白麥等最も優勢である。相場は年初來手堅く、前年に比し、平均三割乃至一割方高値を示した。

移入大麥及裸麥仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (百斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大 阪	六五九	一、四四六	四、二三八	八、一三九
神 戶	四一八	五七六	二、六〇〇	三、三九二
下 關	四〇	一、一五三	一、八八	五、六四二
門 司	一九	二二	一七	一九〇
博 多	四、六一一	一六	二八、九〇〇	八八
其 他	三、四九一	六六、六一七	一九八、二八六	三、四六七
計	三〇、二三五	六九、八三六	三三三、三〇九	三、四七九

裸麥平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
		白 麥	一石	一五、〇〇〇	一六、〇〇〇	一五、〇〇〇	一四、五〇〇	一四、八〇〇	—	—	—	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
玄 麥	百斤	五、四〇〇	六、〇〇〇	五、九〇〇	五、〇〇〇	五、五〇〇	—	—	—	五、三三三	五、八〇〇	六、一〇〇	五、六六六	五、〇〇〇	五、〇〇〇

小 麥 粉

本品も亦日用必須に近い重要食糧品の一であり、而かも、需要増加の原因を爲す、米價昂騰に依る粉價の割安と、南鮮水害影響に依る雜穀類の凶作關係から、當然需要を喚起し、一面移出米運搬に活動する、發動機船の返り荷として、關門地方より浦項方面經由、奧地鐵道沿線仕向品の、當港奪取等に依て入荷増大を加へた。而して内地製粉界は、滿洲國を初め海外輸出の好轉、内需の擡頭に加ふるに、海外小麥の不作見越に依て頗る活況を齎らし、必然粉價向上を促せしも、上半期に於ける會社側の外麥買付成功や、内地小麥の記録的豐收關係等の事情もあつて、共販安値支持の爲當地市場も春來市價軟弱を辿り、前年に比し平均稍や下値である。

移入小麥粉仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大 阪	一一、三四四	七、〇〇〇	一一、五九八	六、一五二
神 戶	一八、〇七	二九、一〇六	六、七八六	二八、四三二
東 京	一、三三	〇、〇〇〇	一、三三	三、二〇〇
下 關	一〇、九八三、四四〇	四、六四八、六六一	九四六、九三五	四五一、四七八
計	三二、〇六〇	四一、一五〇	二〇、九一七	三九、八〇二



第三 内地貿易 (貨物)

計	門 司		博 多		其 他	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
計	11,776,019	710,761,919	6,088,359	370,733	5,697,660	340,028,986
門 司	5,575,591	329,184,820	2,911,848	169,133	2,660,743	169,851,677
博 多	6,633,820	391,548,099	3,176,510	170,599	3,459,310	220,677,419
其 他	8,300,408	380,928,990	3,099,991	170,599	5,200,417	219,251,302

小麥粉平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
綠	一袋	3,334	3,333	3,333	3,330	3,335	3,324	3,311	3,310	3,327	3,329	3,326	3,328	3,326	3,323
イ	一袋	3,334	3,333	3,333	3,330	3,335	3,324	3,311	3,310	3,327	3,329	3,326	3,328	3,326	3,323
ヤ	一袋	3,334	3,333	3,333	3,330	3,335	3,324	3,311	3,310	3,327	3,329	3,326	3,328	3,326	3,323

砂 糖

金再禁止を楔機として、關稅引上、爲替安の二重奏に依り、一昨年下半年以來對外輸出の増進に伴ひ、爆發的好轉の傾向を呈せし内地糖界は、本年に入り世界産糖過剩問題や、日蘭會商に於けるジャバ買付問題等の難關に加へ、他方金本位ブロックの動搖は、堪へず内地市場を壓迫し、情勢漸く變化を來したが、當地市場は好景氣に依る地場需要増加の外、小麥粉同様發動機船の活動に依て、地方仕向品の當港吸收から、入荷増加を示した。併し、糖價の低落と下級品の入増に依て、數量増加に拘らず、價額に於て減退した。尙平壤糖本年の回着高は約三萬俵を算し、前年より三百餘俵の増加であつて、消費良好の實勢にあるが、大消費者たる製菓方面は、原材料の騰貴に依て、原價高の影響次第に大を加ふるに及び、菓子屋業者の聲は、多分の増益時代を續けた砂糖會社への批難となり、延いて關稅撤廢方に就き、先づ當地同業組合に依て、要望されるに至つたのは注

目すべき現象である。相場は困難視された十年産糖協定成立を傳へ、年末に近づくに従ひ持直したが、前年に比べて平均尙下値である。

移入砂糖仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大 阪	3,711,188	2,012,928	3,366,110	2,000,000
神 戶	1,074,330	3,101,878	1,298,000	3,100,000
下 關	1,626,331	1,792,384	1,564,001	1,771,277
門 司	1,211,700	2,113,377	1,183,127	2,100,000
臺 灣	1,019,710	771,984	555,716	1,181,077
其 他	11,517,717	19,588,844	8,111,267	11,383,551
計	23,183,166	35,380,327	18,121,181	25,861,452

砂糖平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
2 (内地産)	百斤	1,000	1,010	1,020	1,030	1,040	1,050	1,060	1,070	1,080	1,090	1,100	1,110	1,120	1,130

第三 内地貿易 (貨物)







の朝鮮工場製品の市場進出の影響があり、而かも、賣行上に影響する天候關係が、餘り良好でなく、移入不振を豫想されたけれども、一般鮮人嗜好の向進に依る需要増加と、一面關釜間に活動する小型機船積に依り、浦項方面經由、奥地鐵道沿線向品の當港吸收等の外、本年七月酒稅令改正に伴ひ需要期節を控へ、見越移入の旺盛に依て、顯著の入増を示すに至つた。相場は原料昂騰を楯に、建値引上が問題となつたが、獨占の事前、社會的非難と統制法の束縛から實現困難化し、却つて、七月以來五十錢方値下を餘儀なくされた。

移入麥酒仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (利)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大 阪	一四、六九三	三九、六七五	三、七五〇	一三、〇六九
神 戶	八、五五九	三九、八四二	二、八一八	一〇、八八四
下 關	一〇、九一〇	三、八六三	三、四三六	一、一五三
門 司	一、三九二	一、三、四四四	五、八二二	五、〇二七
博 多	三、六七三	四、九一、一三六	一、六、一五五	一、六、〇六三
其 他	四、四二七	一、〇、三三三	一、五、七三七	一、五、〇三三
計	四、〇、九七七	一、〇、〇一三	一、三、〇一三	一、三、〇一三

麥酒平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
キ リ	一箱	一四、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一四、六八〇
サ ツ	四打	一四、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、五〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一四、六八〇
サ ク	同	一三、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇	一三、六八〇

焼酎

本品は清酒、麥酒等高級品に對し、價格廉の爲、愛飲者増加の形勢にあるが、移入焼酎は鮮内生産増加と、内地生産會社鮮内進出とに依り、大打撃を受け、地盤は一時四分五裂の状態に陥りしも、昨年來台灣糖蜜を原料とする鮮内新式焼酎が、同原料の供給難と價格の暴騰から、内地産甘藷或は南洋産糖蜜の供給を仰がねばならぬ羽目となり、作業支障多きに乗じ猛然内地産の移入を促進し、殊に本年は需要期節を控へ、麥酒同様稅令改正に伴ひ、見越取引旺盛を呈し、且つ、當業者側も統制の羈絆内にありて、比較的利薄き朝鮮産よりも、妙味多き内地格安品に集注せられ、而も糖粉同様、小型機船の活動等に依り移入激増を示した。右の状況で地位顛倒し、移入焼酎の爲、鮮産全く致命的脅威を感じるに至り、之が打開策として、内地側との協定に依る外なく、四苦八苦を續けたのが鮮内焼酎業者である。而して、移入品の主なるものは福祿、寶龍、寶竹、寶松粕取等の外、最近壽、勇氣、花菱等盛なる入荷を見た。

移入焼酎仕出地別數量價額二年比較表















計	打綿平均相場月別一覽表													
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
下	五七六	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九	三三九
門	一、三〇〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇	一、八七〇
博	八、二一六	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七	五、〇八七
其	三、九七七	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一	三、四五一
計	一、四七五	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六	一、〇八六

綿織絲

内地紡績界は、年頭日印會商成立を轉機として、印綿不買決議の解消と、輸出の躍進に依て、環境明るく好調持續の状態を呈すると共に、鮮内織布工業の發展に伴ふ原料方面、就中、當地方に於ける加工貿易に屬する久留米絨を初め、靴下浴巾等生産好況を呈する一面、滿洲國仕向仲織品の移入増等に依て入荷増大を加へた。移入高は上半期、下半期殆ど伯仲の状態にて、荷動頗る順調を示したが、朝紡製品市場進出の影響もあつて、近來十番手等の太糸類は殆ど入荷を見ない。相場は米綿の減收豫想や、印綿の各國買付増等を織込む原棉高の刺戟を受けて、過剩懸念の春先安を轉回し、下半期に入るに從ひ漸次反騰を呈するに至つた。

移入綿織絲仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)				價額 (圓)			
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		
大阪	三、九八〇、八〇〇	二、四四三、三〇〇	一、五三七、五〇〇	一、六〇一、一四六	一、〇一〇、七九五	五八〇、三五二		
神戸	三、三三三	二、〇二二	一、三一一	一、八八二	一、五〇〇	三八二		
名古屋	四、三三〇、七〇〇	三、〇〇〇	一、三三〇、七〇〇	一、一七五	一、四一三	一、五四九		
下關	〇七、〇〇〇	〇七、〇〇〇	〇	五、三三三	五、三三三	〇		
博多	三、四四三、三〇〇	三、二二二	二二一、一〇〇	七、七七一	七、七七一	〇		
長崎	五、六六三、三三三	〇七、〇〇〇	一、七九六、六六七	四、七〇〇	二、八七九	一、八二〇		
其他	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	〇	一、五七六、九六四	一、三三三、三三三	二四三、六三一		
計	五、八七五、一〇〇	四、四四三、三〇〇	一、四三一、八〇〇	五、二二八、六〇〇	三、〇一〇、一〇〇	二、二一八、五〇〇		

綿織絲平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	打綿平均相場月別一覽表													
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
單十六手桂月	廿一綱	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	九七、七〇〇



綿 縫 糸

一般綿布類の需要好況竝にミシン機の普及等に依て、鮮内各地消費増進を來すと共に、本品も亦滿洲國仕向仲織品の荷動増に依て、移入増加を示した。相場は綿織絲同様、上半期の不勢も下半期に入り持直しの状態である。

移入綿縫絲仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	三三三、三三七	一五六、〇五五	三、四七、〇七六	一、五四、五九九
名古屋	四九八、七八一	三三三、一〇三	四八、〇九九	三三、七一一
下關	六、一七五	七、七七八	五、四八八	一〇、三二七
其他	八三三、七三三	七、〇七九	八、二一〇	三、三二七
計	一、六六一、九一六	三三三、九一五	一、〇六、七〇三	五、二〇七
		増減 (△)		増減 (△)
		一、三二八、〇〇一		一、〇一四、四九六

綿縫絲平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
雙馬 (四十二手)	廿一捆	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一	一六、〇〇一

毛 絲

本品需要は編物手藝流行の變遷に伴ひ、時に消長を免れざりしも、實用向需要は近年増進の趨勢を辿り、殊に本年は地場需要増加の外、滿洲國仕向品の入増等に依て移入増進を呈した。而して、移入品中には、外國産の内地で輸入手續済となつたものを含んで居るが、外國産は内地産に漸次壓迫せられ、輸入益々困難の状態にて、英國産ビーハイブの如き直接輸入一昨年の六千餘斤二萬餘圓を最後として、爾來輸入皆無である。需要方面は一時旺盛を呈せし婦人首卷用等、現今著しく不振の形勢なるも、輕装で防寒に適する肌衣用を初め、体裁より行動自由を第一とする子供服用等に至りては需要衰へず、賣行良好の模様である。相場は生産過剰に依る濠洲羊毛の値下りに伴れ、内地毛糸市場の悪化から、春來漸落状態を呈せしが、前年に比して尙平均幾分上値である。

移入毛絲仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	四九八、八八八	三五六、四八七	一、一八五、二八四	八二九、三七四
神戸	七、〇八五	三、七五九	一、七、四七〇	九、一五三
名古屋	二、四七二	六、二六三	九、二五〇	一、三三、八八五
東京	一、五九四	一、九八一	五、七、六三三	一、一、七〇〇
其他	三三、六二八	三、七〇六	八、二、七二六	五、八、八〇〇
		増減 (△)		増減 (△)
		一、三二八、〇〇一		一、〇一四、四九六



第三 内地貿易 (貨物)

計	五八九、一〇	四五五、三九	一三三、六六	一、七〇、一〇三、一	一、三三、一〇〇、一	一、〇五、九〇一
---	--------	--------	--------	------------	------------	----------

毛絲平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
スコッチ獨逸産	一ポンド	一、六五	一、七〇	—	—	—	—	—	一、〇〇	一、四〇	一、三五	—	—	一、五三	一、三八
ビーハイブ英國産	同	三、四〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、三五	—	三、九二	三、九二
日本毛糸	同	二、二〇	二、二五	二、二七	二、二七	二、三〇	二、三〇	二、一五	一、九五	一、七〇	一、六〇	一、〇六	一、六〇	二、一〇	一、九七

生金巾、生シーチング及生細布

鮮内市場に大勢力を有する、朝鮮製品販路擴大の影響に、加ふるに、鮮人生活程度の向上に伴ひ、需要は生地物より加工品に移る傾向にあるのみならず、本年南鮮水害影響等に依り、商況活気を欠ける下半期の不勢に依り、前年に比し、上半期相當増加したるに拘らず入荷減退した。而かも内地綿糸布界は生産増加、輸出躍進が祟つて、相次ぐ各國の壓迫を蒙りながら、春來日印會商成立を轉機として更に好勢に轉ずると共に、東紡、鐘紡等内地大會社の鮮内進出を目指して、工場の新設擴張を促がし、朝鮮綿布界に刺戟衝動を與ふるに至り、今後一層移入期待薄の情勢に置かれた。相場は春來綿糸安に伴れ稍や下値に落ち、米綿の減收、印綿昂騰等の刺戟を受け、下半期に入り一本調子に手堅き足取を示した。

移入 生金巾、生シーチング、生細布 種別數量價額二年比較表

種別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
生金巾	四三五	—	一三	—
生シーチング	一、四八五、一六八	一、五四九、九六一	二六四、四七三	二八四、一四八
生細布	三、六三九、一八三	四、一六八、六八八	六四八、八七四	六九〇、八八六
計	五、一四七、七九五	五、六六六、七五九	九三三、三五一	九七五、〇三四

移入 生金巾、生シーチング、生細布 仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	四、二三七、三七九	四、四九三、三八八	七六九、九三八	七九三、六一五
神戸	二、八二〇	七、六六〇	四、四八三	一、二二九
名古屋	一、六三三、四二五	一、八八九、九六〇	二二八、三八五	二二八、八八四
下關	五、四〇〇	—	九、六九〇	—
門司	一、一〇、〇〇〇	四、九一〇	一、七三三	八、七三三
博多	三、三三三、四〇〇	五、〇六三、〇三〇	六六、〇三五	八六、三三三
其他	一、八八、三七四	四、一五、一三一	三七、六〇一	七五、三六一
計	五、一四七、七九五	五、六六六、七五九	九三三、三五一	九七五、〇三四

第三 内地貿易 (貨物)



生細布類平均相場月別一覽表

商標 又ハ品柄	單位	月別												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
生細布鷹A十三封度	一反	八、五〇	八、七〇	八、三〇	八、三〇	九、三〇	九、三〇	九、六〇	九、六〇	九、六〇	九、五〇	九、五〇	九、五〇	九、一七	八、四七
同赤世樂鳥十二封度	同	—	—	—	—	八、三〇	七、八五	八、六〇	八、六〇	八、六〇	八、七〇	八、七〇	八、七〇	八、四六	七、四四
同 虎舟 十封度	同	—	—	—	五、六〇	五、七〇	五、七〇	五、七〇	五、七〇	五、八〇	五、八〇	五、八〇	五、七〇	—	—
生シーチングA 罫	同	九、〇〇	八、九〇	八、八一	八、八〇	九、〇〇	九、五三	九、一〇	九、二五	九、二五	九、四〇	九、五〇	九、五〇	九、一六	八、八七
生シーチング犬首 罫	同	—	—	—	六、四〇	—	—	七、一〇	七、一〇	七、一〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、一一	—
生シーチング金剛山	同	八、〇〇	八、一〇	—	—	—	—	—	—	—	八、八五	九、〇〇	八、八〇	八、五五	七、七〇

晒金巾、晒シーチング及晒細布

本品も亦前年に比し、上半期に増加し下半期に減退したのは生物同様であるが、生物に比し鮮産一層生産乏しく、大部分内地品の供給に仰がねばならぬ現状にあるのみならず、近來輸入業者たる支那商人の没落と、圓爲替下落に依る不採算とで、從來上海方面と取引を見て居た英國産の勢力失墜等に依て、移入増進を示した、旁々需要方面は前項述ぶる通り、生地物より加工品に移る傾向も見受られ、且又色服着用奨励の結果色物需要増加の趨勢にあつて、此の機運に對應せん爲、晒加工の外染色工場等朝紡、東紡等に依て、企畫されつゝあるは注目すべき現象であると共に、需給上相當變化を豫想される。相場は生物同様下半年期に入り昂騰相次ぎ一途高値を出した。

移入晒金巾、晒シーチング、晒細布種別數量價額二年比較表

種別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
晒金巾	三、四七、七〇六	三、二八七、六二四	六六九、三二四	六三三、七七一
晒シーチング	一、五五、六七八	三二二	三、四〇七	三、三六五
晒細布	一、五五、六七八	一、四三、四九二	三、四〇七	三、三六五
計	五、〇九〇、〇六二	四、七三三、一三八	一、〇一八、一五三	九八〇、四四九

移出晒金巾、晒シーチング、晒細布仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	五、〇〇一、五八四	四、七〇一、一八六	一、〇一八、一五三	九八〇、四四九
神戸	—	—	—	—
名古屋	—	—	—	—
東京	—	—	—	—
其他	—	—	—	—
計	五、〇〇一、五八四	四、七〇一、一八六	一、〇一八、一五三	九八〇、四四九



晒金巾類平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
晒金巾東方朔(内地産)	一反	八、四〇	八、六〇	八、八〇	—	—	九、三五	九、三五	九、四〇	九、四〇	九、四〇	九、五〇	九、五〇	九、二七	八、八〇
晒金巾(内地産)	同	—	—	—	—	—	一〇、一〇	一〇、〇〇	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、二〇	一〇、二〇	一〇、一一	—
晒金票桃李園(内地産)	同	—	—	—	—	—	七、〇五	七、〇〇	七、一〇	七、一〇	七、一〇	七、一〇	七、一〇	七、三三	—
晒細布金月船	同	—	—	—	—	—	六、五五	六、八五	六、六〇	六、九〇	六、九〇	六、八〇	六、八〇	六、七三	—
晒細布改良漢江	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ジーンズ

本品中には艶付と然らざるものとを含むが、入荷は前者二割強後者七割強の割合であつて、依然艶なし物優勢である。併し鮮人間の嗜好に投じ會て噴々たる好評を受けた本品も、近來縹子地特に五枚縹子の流行や、人絹織物の急進的出現に遮られて下り坂となり、剩へ最近太綾物特に四綾類に嗜好を奪取せられる傾向にありて、全く昔日の勢なく、而も、本年南鮮水害影響の爲、下半期の入減に依り、前年に比し數量價額共に三割方の減退である。

移入ジーンズ仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
增	—	—	—	—
減	—	—	—	—
△	—	—	—	—

大 阪	名 屋	其 他	計
一、六三三、六九九	六、七二八	六、七三三	一、六四七、一三六
二、四三三、二八三	—	二、三六三	二、四五四、六四五
△	—	—	△
八、八八、五八四	六、七二八	四、三六〇	八、九〇、五〇〇
三三三、八七〇	一、〇七三	九九九	三三六、五六三
四九七、一〇一	—	—	四九七、一〇一
△	—	—	△
一、〇、一三三	—	—	一、〇、一三三

ジーンズ平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
艶付色ジーンズ	一反	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美人三〇—三一碼	同	五、六五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黒細布	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
竹虎三〇—三一碼	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

太綾布

本品は其質高尚強靱で而かも値段安の爲、著しく鮮人嗜好を唆り、特に近來色服用獎勵の結果、黒、灰等衣服用無地物を初め、蒲團側方面に使用せられる赤、紫等の各種需要を喚起し、著しく入増を示した。由來流行變遷に伴ひ浮沈極まりなきは織物界の特色であるが、且ての華形ジーンズより縹子地に移り、縹子地より最近太綾へと、其變遷の急なるに驚くの外なく、今や本品は時代の寵兒として歡迎せられ、勢旭日の如く、移入綿布類中斷然頭角を現すに至つた。

移入太綾布仕出地別數量價額二年比較表



仕出地	數		量 (方碼)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大阪	五、三六六、〇三八	四、八四〇、一七六	四二六、八八〇		一、五九九、八三八	一、五八七、〇〇八	一二二、六八〇	
神戸	七、八八七	五、五七三	二、三一四		一、七、七六一	一、三、四三九	四、三三二	
其他	二、〇一〇、五五三	一、五七三、七九	四三六、七六四		六、一、三三二	五、七、八三六	三、四、四九五	
計	五、三三九、六六八	五、〇一〇、六五三	三二八、〇一五		一、七、八、七三三	一、四、三、八、四三	三、四、三〇七	

太綾布平均相場月別一覽表

仕出地	數		量 (方碼)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大阪	五、三六六、〇三八	四、八四〇、一七六	四二六、八八〇		一、五九九、八三八	一、五八七、〇〇八	一二二、六八〇	
神戸	七、八八七	五、五七三	二、三一四		一、七、七六一	一、三、四三九	四、三三二	
其他	二、〇一〇、五五三	一、五七三、七九	四三六、七六四		六、一、三三二	五、七、八三六	三、四、四九五	
計	五、三三九、六六八	五、〇一〇、六五三	三二八、〇一五		一、七、八、七三三	一、四、三、八、四三	三、四、三〇七	

綿 繻 子

繻子地の流行旺盛に伴ひ、ジーンズに代つて加速度的に躍進を見たのは綿五枚繻子で、今尙繻子地中最も優勢であるが、繻子地の流行も、近年目覚ましく進展を示せる、人絹織物の勢力増進に伴ふ打撃が加はると共に、最近需要方面は太綾物に轉向する傾向もあつて、著しく好況を見る能はず、而も、南鮮水害影響の爲め下半期の入荷振はず、結局前年に比し幾分減退を免れなかつた。

移入綿繻子仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數		量 (方碼)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大阪	一、四二一、七六三	一、一〇〇、五三八	三二一、一九五		四四二、九五二	五九二、九五二	一四九、一七九	
其他	六、六九五	九、六四一	二、九四六		一、五六一	二、七四六	一、一八五	
計	一、四二一、七六三	一、一〇〇、五三八	三二一、一九五		四四二、九五二	五九二、九五二	一四九、一七九	

綿繻子平均相場月別一覽表

仕出地	數		量 (方碼)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大阪	一、四二一、七六三	一、一〇〇、五三八	三二一、一九五		四四二、九五二	五九二、九五二	一四九、一七九	
其他	六、六九五	九、六四一	二、九四六		一、五六一	二、七四六	一、一八五	
計	一、四二一、七六三	一、一〇〇、五三八	三二一、一九五		四四二、九五二	五九二、九五二	一四九、一七九	

毛 織 物

本年の毛織物界は、供給超過と原毛低落から製品値下りの爲早くも反動期に當面の状態にて、内地市場の不況に伴れ、當地も活氣を呈するに至らなかつたが、羅紗、セルヂス等の洋服地は、近來男女共洋装者の増加傾向にある外、最近子供服の需要亦侮り難き趨勢にあつて賣行良く、次でモスリンは人絹或は銘仙等對抗商品の壓迫を蒙りながら、嶄新なる意匠と製品の向上に依つて、人氣を博すると共に、市價安の爲需要喚起せられ、殊に洋服地は内地に於ける生産増加と爲替安に依て、外國産を



抑壓し、従来上海方面より取引を見て居た英國産等入荷阻止の結果、一層増大を加へた。而して所謂舶來品漸減状況なるが、輸入の主なるものは英國産アルバカであつた。相場は昨秋來反動期に入れる内地安に追隨し、一般軟弱を辿つた。

移入毛織物種別數量價額二年比較表

種別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
羅紗及セルヂス	六三三、六〇九	四六五、二七五	八三三、九三三	六二七、六九三
モスリ	八三三、三九九	八一五、五五九	四八五、〇六三	四三三、一一〇
其他	一〇九、七〇〇	一七〇、六五三	二七八、二二九	三三八、〇一三
計	一、六五三、六六八	一、四五五、四八六	一、五九七、二三三	一、二九七、八一六
			増減 (△)	増減 (△)
			一八六、三三三	二九九、三九七

移入毛織物仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	一、二二二、三六七	九三六、一三四	一八三、一四三	七四七、三三三
名古屋	一、四四、一八六	一、四四、九二七	一七〇、九九八	一六九、〇四九
東京	二四、四九五	二五、三〇六	五三、五三六	四六、五四一
其他				
計	一、六九〇、九六八	一、四〇六、四六六	一、五〇七、六七七	一、九六三、九二五
			増減 (△)	増減 (△)
			二八三、五三三	一、九六三、九二五

種別	昭和九年	昭和八年
其他	三六三、七五〇	三四九、二一九
計	一、六五三、六六八	一、四五五、四八六

輸入毛織物數量價額國別二年對照表 單位 (數量 方碼 價額 圓)

種別	數量		價額	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
羅紗及セルヂス	八、六七七	八、八九四	八、八九四	八、八九四
セルヂス	八、六七七	八、六七七	八、八九四	八、八九四
アルバカ、オルレア	四三五	四三五	四三五	四三五
アルバカ、トルス類	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
計	一、〇一五	一、〇一五	一、〇一五	一、〇一五

毛織物平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月別												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
毛製羅紗厚地黒	方碼	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇
紺サ	同	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇
アルバカ縞地上	同	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇	〇〇、〇〇〇
モスリン色物上	同	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇







鮮人向絹織物平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
幕本級 (練)	一疋	三、五〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
紋縹子 (法級練)	同	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇	一四、五〇〇
熟素 (生經)	同	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇	一〇、五〇〇
老紡紬 (練)	同	五、八五〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇	五、六〇〇
色甲斐絹	同	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
人絹布法級	同	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇
文華級	同	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇
熟素	同	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇	二、五五〇
人絹純絹交織布法級	同	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇
熟素	同	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇
熟庫紗	同	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇

漁網及漁網地

本品は當地並に統營に於ける生産増加に伴ひ、沿岸は勿論下關地方に移出を見る程であるから、内地品の取引上可なり打撃

を蒙りつゝあるが、需要方面は應急處理等小口取引に於ては、鮮産便利の場合あるも、大量取引に於ては、内地品が品揃良く移入有利とすることあるは云ふ迄もない。尤も本品取引上密接の關係を有する漁撈方面は、本年氣温關係もあつたので一概に云へないが、南鮮に於ける鯖、鰯漁業の進展、並に、風水害を蒙りし大敷網等替網準備の爲、需要増加を促す等結局移入増進を示した。而して移入品中賣行の良かったのは、鯖の刺網四本七節八分目、鯖の刺網八本二寸八分目、同巾着網九本六節、鯨の壺網二十一本、二十四本、二十七本、三十本、七節等である。相場は短期間に成敗を晴する水揚事業を背景とする丈に、相當波瀾性を持つが、大体下半年期に入て原糸高に伴ひ、前年より一段上廻りを示した。

移入漁網及漁網地仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	二一、八五九	一七、五五四	四、三〇五	一八、九六七
名古屋	二九、二〇〇	一四、九一四	一四、三三八	一九、七八四
四日市	三〇、四七八	一四、一七〇	一六、三〇八	一六、八三三
下關	二六九、五三六	一六一、二六二	一〇八、二九四	一六五、九五七
門司	三、九〇〇	一一、七四六	七、八四六	一二、八九四
其他	四三三、九八一	二七五、四四〇	一四九、五四一	三六、八三三
計	七七八、九四六	四九四、〇八六	二八四、八六〇	五五二、二六八

綿漁網平均相場月別一覽表



商標又ハ品柄	單位	數量 (一)												平均	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	前年	前年
四本七節 八分目	百尋	九、二〇	九、四〇	九、二〇	九、二〇	九、六〇	一〇、五〇	一〇、〇〇	九、八〇	九、八〇	九、六〇	九、四〇	九、六四	八、七四	
六本二寸五分目	同	一、三〇	一、二五	一、三〇	一、三〇	一、二八	一、四〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、二八	一、二五	一、二八	一、一三	
八本二寸八分目	同	一、五〇	一、六〇	一、五〇	一、五〇	一、六〇	一、八〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、六五	一、六〇	一、六四	一、五〇	
九本六節	同	一、七〇	一、八〇	一、七〇	一、七〇	一、八〇	二、〇〇	一九、五〇	一九、〇〇	一九、〇〇	一八、五〇	一八、〇〇	一八、五〇	一七、四〇	
十五本四節	同	二、六〇	二、七〇	二、六〇	二、六〇	二、八〇	三、〇〇	二、九〇	二、八、五〇	二、八、五〇	二、七、〇〇	二、七、〇〇	二、七、八八	二、六、七二	
十五本六節	同	二、八、五〇	二、九、五〇	二、八、五〇	二、八、五〇	三、〇、〇〇	三、一、〇〇	三、一、五〇	三、一、〇〇	三、一、〇〇	三、〇、五〇	三、〇、五〇	三、〇、二九	二、八、六三	
十八本六節	同	三、四、五〇	三、五、五〇	三、四、五〇	三、四、五〇	三、六、五〇	三、八、〇〇	三、七、五〇	三、七、五〇	三、七、五〇	三、六、五〇	三、六、五〇	三、六、五〇	三、四、六六	
廿一本七節	同	四、二、五〇	四、三、五〇	四、二、五〇	四、二、五〇	四、四、五〇	四、六、〇〇	四、五、五〇	四、五、五〇	四、五、五〇	四、四、五〇	四、四、五〇	四、四、六三	四、一、六七	
廿四本七節	同	四、九、〇〇	五、〇、〇〇	四、九、〇〇	四、九、〇〇	五、一、〇〇	五、三、〇〇	五、三、〇〇	五、三、〇〇	五、三、〇〇	五、一、〇〇	五、〇、〇〇	五、一、一七	四、七、八八	

和服

本品は内地人の居住増加に伴ひ、鮮内需要漸増の形勢にあるは云ふ迄もなく、本年満洲國仕向品の入増等に依て、移入高前年に比し一層増大を加へた。

移入和服仕出地別價額二年比較表

仕出地	數量 (一)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	111,111	111,111	111,111	111,111
神戸	77,777	77,777	77,777	77,777
名古屋	100,000	100,000	100,000	100,000
東京	100,000	100,000	100,000	100,000
下關	110,111	110,111	110,111	110,111
其他	111,111	111,111	111,111	111,111
計	111,111	111,111	111,111	111,111

洋服

洋服の着用は近年急激に増加しつつあるは一般趨勢にあるが、大量生産に依る内地既製服は、割安な爲需要増進の傾向を來せるのみならず、加工條件付賣出等の方法に依り、人氣の集中に努むる一面、和服同様満洲國仕向品の入増等に依り、前年に比し移入著増を示した。

移入洋服仕出地別價額二年比較表



仕出地	數		量 (一)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大 阪	1	1			2,637,978	1,922,419	△ 675,559	
神 戸	1	1			2,802,522	2,003,332	△ 799,190	
名 古 屋	1	1			2,510,212	1,903,347	△ 606,865	
横 濱	1	1			453,333	433,463	△ 19,870	
東 京	1	1			906,661	863,080	△ 43,581	
下 關	1	1			168,344	129,653	△ 38,691	
其 他	1	1			1,259,033	1,011,085	△ 247,948	
計	1	1			5,297,333	4,269,564	△ 1,027,769	

護謨底綿靴 (地下足袋ヲ含ム)

本品は品質の改善に伴ふ耐久力の向上、且つ大量生産に基く値段の格安等に依り、内地産の需要増進の趨勢にあるが、本品も亦ゴム靴同様近來鮮内護謨工業の發展に依る生産増加に伴ひ、賣行上打撃漸く加はりつゝある折柄競争上本年は、春來最品付特賣等の方法に依り、地方賣擴めに努力の結果入荷好況を示した。荷動状態は運動熱の旺盛なるに伴ひ、所謂運動靴を初め學童用ズック靴等、地場需要増の外、北鮮國境方面仕向の地下足袋等、相當注目せられる。併し滿洲國仕向仲織品は、前年より入荷幾分減退の方である。相場は販賣競争の爲各品區々の状態である。

移入護謨底綿靴仕出地別價額二年比較表

仕出地	數		量 (一)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大 阪	1	1			1,000,000	1,000,000	0	
神 戸	1	1			5,000,000	4,000,000	1,000,000	
博 多	1	1			3,000,000	2,000,000	1,000,000	
其 他	1	1			3,000,000	2,000,000	1,000,000	
計	1	1			11,000,000	9,000,000	2,000,000	

地下足袋平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	量														
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均	
博多産 朝日	十足	7,300	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,300
同 朝日股無	同	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
久留米産 月星	同	1	1	1	6,700	6,700	6,500	6,500	5,900	5,900	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	5,800

洋 紙

本年の洋紙界は製紙大合同に依る統制強化に依り、生産過剩懸念等全くなきに至り、紙價先行強調と見込まれ、既に夏場から手當買旺盛を告げ前年と反對に上半期の入荷、下半期の入荷より増加を來たと云ふ状態にて、入荷促進され、又需要方面



も文化の向上に伴ひ、自然増加を見る外、輸出貨物の荷動増に伴ひ、各種洋紙類需要を喚起する等、消費一般良好を呈した。相場は原料パルプ高の刺戟を受けて昂騰したが、会社側の紙價政策上一律に値上困難の事情もあつて、物に依ては前年より値下りを見たものもある。

移入洋紙仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大 阪	五、三三八、六三六	四、七三五、七三三	一、四一三、九七五	一、三二八、四三三
神 戸	一、〇三九、五五八	四一五、一三九	一七三、二五一	六〇、七二七
東 京	二七〇、九五三	八三、七八六	六三、三五七	三八、六三六
其 他	八九五、一〇七	七三、七七八	二二、三三三	一三九、八〇三
計	七、四四三、三三三	五、五五九、七三〇	一、八一三、〇〇〇	一、八七二、五九三

洋紙平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
神戶洋紙十八封度	本	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五
新聞洋紙四十封度	連	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇

和 紙

本品は根本に於て洋紙類需要増加の打撃があり、又滿洲國仕向品も大なる増加を示さず、依然不勢を豫期されたが需要方面は農村景氣の擡頭、紙價安等に幸せられ一般買進から、半紙、美濃紙、塵紙等を通じ好調を辿り、障子紙等に至る迄、南鮮水害復舊地方に於ける需要増加の結果、入荷増進を示した。相場は洋紙同様會社側の据置方針に依り、前年に比し値下りを見た。

移入和紙仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大 阪	二、四七、六七五	一、七七一、五三〇	八四、九九七	六六、三三〇
神 戸	四、九三、二二六	五、一五、八一	一七三、一一	二二〇、七
東 京	一、四〇、五	七、七七、七	〇、〇〇	二、二二、一
下 關	一、〇三、一	一、三、七	〇、〇〇	〇、〇〇
門 司	一、〇三、一	一、三、七	〇、〇〇	〇、〇〇
博 多	六、六、五五三	六、三、七六七	二、五、四三三	二、一、八、二
計	一、一、一、一	一、一、一、一	一、一、一、一	一、一、一、一



其	計	他	四九八、四五四	四三一、六九二	六六、七六三	一八三、四五六	一七、三九〇	一六、〇六六
計	他		一、三三、三三二	八六、一七〇	三五六、四八四	三六二、〇七〇	三三、七九八	六、三〇三

半紙及美濃紙平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
半紙 手漉上	一箱	五、〇〇	四、五〇	四、五〇	四、〇〇	四、〇〇	四、一〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、一八	四、八二
同 機械漉上	同	二、七〇	二、七〇	二、七〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、三八	二、五三
美濃紙 手漉上	同	九、〇〇	九、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、八二	八、〇五
同 機械漉上	同	五、七五	三、七五	三、七五	三、八五	三、八五	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、九六

セメント

内地セメント界は、滿洲輸出の大躍進を遂げた昨年下半年を頂点として、其後悪化しないまでも著しく向上を示さず、聯合各社は増産中止を廻つてカルテル内部の意見の對立から、統制外にある鮮内に生産會社の進出、或は計畫を傳へられたのも之が爲であるが、當地各種産業の活況に依つて、工場の新設、擴張或は修理を促し、加ふるに地方匡救土木事業の進展、並に、南鮮水害地方復舊工事方面の需要増加を見込まれ、移入増進を示した。併し相場は生産過剩懸念の最も強いもの、一つである丈、前途の混亂を憂慮されると共に、十一月遂に統制法の發動を見るに至り、賣値引下げを餘儀なくされた内地市場に追隨し當地も十一月以來の値下りに依り、前年に比し平均幾分値下を示した。

移入セメント仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (百斤)		價額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大阪	三、三三三	一、七九	三〇、三二六	七〇二
下關	七、七、六四九	一、〇、〇二〇	一〇五、八九三	一一、九七〇
門司	三、三、三三三	一、〇、〇二〇	三三、三三三	二、〇、八九六
其他	三、五、五五五	二、六、六三九	四八三、一八三	三七四、六二二
計	六、六、六九九	四、〇、〇九八	九四二、六三五	六二八、一八七

セメント平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	數量 (百斤)												價額 (圓)	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
淺野紙袋入	一袋	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
豐國同	同	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
宇部同	同	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
小野田同(朝鮮産)	同	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五

陶磁器及其他ノ粘土製品



本品は鮮人生活程度の向上並に内地人の増加に伴ひ、需要増加の傾向を辿り、特に鮮人向食器類等鍮器の需要衰退と相俟て好影響を蒙りつゝあるのみならず、本年は農村好況を背景に、地方需要増の外、滿洲國仕向仲繼品の入増等もあつて、移入額前年に比し可なり増進を示した。尤も市況は南鮮水害の爲一時悲觀されたが、大なる打撃を受けず、之が爲却つて年末取引の増進を見る好況を呈した。相場は産地生産統制の勵行や、當業者が日夜寢食を忘れんとした、蘭印制限令問題の圓滿解決に依る、内地の硬化を受けて、手堅く推移し、前年に比へ尙幾分値上りである。

移入 陶磁器及其他 仕出地別價額二年比較表

仕出地	量 (一)		價	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
大 阪			121,002	112,115
神 戸			10,743	11,018
名 古 屋			44,908	44,970
四 京 市			3,104	2,759
東 京			54,973	33,615
下 關			47,861	39,722
門 司			5,329	4,994
博 多			4,707	4,994
其 他			46,777	39,533
計			249,868	238,708

計	1,111,000	1,240,000	118,000
---	-----------	-----------	---------

鮮人向陶器平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
サバル 白五寸	十個	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111
井 白六寸	同	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111
便 器 白八寸	同	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111

鐵 及 鋼

本品需要に關係深き鮮内土木建築界も、各種産業の進展に伴ふ工場の新設、擴張等に依て繁忙を加へ、且つ地方鑛業界の活況、並に爲替安に依る外國品の輸入不利等相俟て、移入促進の結果鐵物類中條及竿等一、二不振を見たる外一般好勢を辿り、就中鑛山用品、鐵道局用品珽珽鐵器工場原料用品等相注目せられるが、一般商況は八幡製鐵を中心とする製鐵合同を傳へて供給愈々圓滑を見込まれるに至り、春來軟調に推移の折柄、南鮮の水害に加ふるに近畿大風害等に依て、花火線香的爆發に會し、特に電鍍鐵板の如き余りの突飛高に取引中絶状態に陥りしも、年末反動安を演ずる等、市況は近來稀に見る波瀾を極めた。

(イ) 條 及 竿







商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
丸鐵五分	十貫物	三、六〇	三、六五	三、六五	三、九〇	三、九〇	三、九五	四、〇〇	四、〇五	五、一八	四、五五	四、四五	四、一七	四、〇三	
電鍍浪形三十番	百枚	六五、〇〇	六八、〇〇	七〇、〇〇	六九、〇〇	六七、五〇	七三、五〇	八一、〇〇	八五、〇〇	九九、〇〇	一〇三、〇〇	八四、五〇	七九、〇〇	七八、七一	七三、七一
鐵鍍平型三十番	同	七六、〇〇	八一、〇〇	八二、〇〇	八一、〇〇	八一、〇〇	八七、六〇	九七、〇〇	一〇二、〇〇	一〇二、〇〇	一〇三、五〇	九九、五〇	九五、〇〇	九三、八五	八五、九一
板鉛鍍針金八番	一箱	八四、九	七、五五	七、四〇	七、二〇	六、七五	六、八〇	七、〇五	七、四〇	七、九五	八、一〇	七、一五	七、〇〇	七、三三	八、六七
錫力板百七十封度	一箱	二九、〇〇	二九、〇〇	二八、八〇	二九、〇〇	二八、九〇	二九、〇〇	二九、〇〇	二九、〇〇	三二、〇〇	三三、〇〇	三三、〇〇	三一、〇〇	二九、八九	三〇、九九

銅

本品入増の主なる原因は、當地電車線路擴張に伴ひ、電氣會社用銅線の需要激増し、爲に大口入荷を見たことに因るが、其他主に鮮器の製造原料方面に潰される塊及錠等は、從來格安な砲金に阻まれ、不振を脱せざりしも、本年市價安に依り一般買進を見た外、造船所向銅板等新規需要もあつて、需要狀況好調の結果、各品とも入荷増進を示した。相場は春來世界的不安動搖に伴れ、漸落状態なるが、國內製造統制や、空前の風害に依る内地の刺戟を受けて、年末多少騰勢に轉じた。而して市價低落の事情に就ては一、米國の滯銅海外無制限賣出し、加奈陀、亞弗利加増産の爲、歐洲市場に於ける米銅との販賣競争一、世界一の輸入國獨逸の輸入制限等揚げられて居る。

移入銅種別仕出地別數量價額二年對照表

單位 數量 價額 圓斤

種別	昭和九年										計	昭和八年
	大	阪	名古屋	東	京	其	他	計	數量	價額		
數量	1,200	1,100	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200
價額	30,000	28,000	32,000	35,000	38,000	40,000	42,000	45,000	48,000	50,000	52,000	55,000

銅平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
塊及錠	百斤	10,338	1,465	826	32,497	15,749	3,946	10,338	3,946	3,946	3,946	3,946	3,946	11,131	六、一四一
線	百斤	12,939	1,465	826	32,497	15,749	3,946	10,338	3,946	3,946	3,946	3,946	3,946	11,131	五、三三四
其他	百斤	12,939	1,465	826	32,497	15,749	3,946	10,338	3,946	3,946	3,946	3,946	3,946	11,131	七、三六四
計	百斤	38,816	4,395	2,478	67,991	35,444	11,838	24,622	11,838	11,838	11,838	11,838	11,838	34,193	19,869

洋鐵釘

本品も亦鮮内各種工場の新設、増設、或は一般住宅向建築界の活況に依つて、好勢を辿り、而も南鮮水害復舊地方に於ける需要増加に加へ、一般商取引の繁忙、殊に輸出向生産品の荷動増は、勢ひ荷作り用等需要喚起を促し、入荷増進を示した。入荷品中北九州産安田、淺野製釘工場製品を初め、尼ヶ崎工場製品等相當有力である。相場は原料ロツドの落付から、春來氣配軟調に推移の折柄、未曾有なる近畿大風水害の刺戟を受けて、秋に入り俄然沸騰高値を出したが、前年の高値に比し、尙平均一割見當の下落である。

移入洋鐵釘仕出地別數量價額二年比較表



仕出地	数量		量 (斤)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大阪	1,141,400	840,000	△ 301,400		117,300	85,300	△ 32,000	
下關	1,000,000	900,000	△ 100,000		190,000	170,000	△ 20,000	
門司	1,000,000	900,000	△ 100,000		97,000	85,000	△ 12,000	
其他	1,000,000	900,000	△ 100,000		1,000,000	900,000	△ 100,000	
計	4,141,400	3,640,000	△ 501,400		4,141,400	3,640,000	△ 501,400	

洋鐵釘平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
二吋半	百斤	9,400	9,400	9,400	8,900	8,600	8,700	8,900	9,100	9,800	10,000	9,500	9,100	9,300	10,000
商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均

絶縁電線

本品は電燈電力の架空線、引込線、室内用コード等を主とし、例年逓信局、鐵道局、並に當地電氣會社方面に、最も多く需要せられる。云ふ迄もなく鮮内文化の向上と相俟て、電氣事業の發達に伴ひ、益々需要増加の趨勢にあるが、本年は鮮内産業の發展に依る各種工場の活況、別けて當地紡織、陶器、瑠璃鐵器工場等新設擴張に伴ひ相當多量需要を見た外、地方産金界の活躍から、鑛山方面亦可なり取引を見る等、一般取引良好を告げ、旁々本品も亦滿洲國仕向仲繼品の増加關係もあつて、入荷

増進を示した。相場は銅市況の低落に連れ、一齊下落を辿り前年より一段安を呈した。

移入絶縁電線仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量		量 (斤)		價		額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	増減 (△)		昭和九年	昭和八年	増減 (△)	
大阪	3,380,900	1,890,400	△ 1,490,500		1,770,900	1,000,000	△ 770,900	
横濱	5,700,000	8,900,000	△ 3,200,000		3,300,000	4,900,000	△ 1,600,000	
東京	3,400,000	1,800,000	△ 1,600,000		1,900,000	1,700,000	△ 200,000	
門司	3,700,000	1,800,000	△ 1,900,000		1,900,000	1,700,000	△ 200,000	
博多	9,200,000	6,600,000	△ 2,600,000		4,200,000	3,000,000	△ 1,200,000	
其他	7,700,000	8,800,000	△ 1,100,000		4,400,000	5,000,000	△ 600,000	
計	37,800,000	21,800,000	△ 16,000,000		20,000,000	17,000,000	△ 3,000,000	

絶縁電線平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
四種並十四番	千尺	11,200	11,300	11,200	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,500	11,500	11,700	11,000	11,600
二種並同	同	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	7,800	7,800	7,800	7,800	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000







計	神 戸				名 屋				横 濱				東 京				博 多				其 他			
	昭和九年	昭和八年	増減(△)	額(圓)	昭和九年	昭和八年	増減(△)	額(圓)	昭和九年	昭和八年	増減(△)	額(圓)	昭和九年	昭和八年	増減(△)	額(圓)	昭和九年	昭和八年	増減(△)	額(圓)	昭和九年	昭和八年	増減(△)	額(圓)
	1,666,966	1,379,113	287,853	29,057	646,391	29,034	35,257	1,910,088	6,499	1,124,657	94,781	1,249,878	71,424	1,178,454	78,424	1,101,030	1,434,339	1,101,115	333,224	71,424	1,683,179	1,045,685	637,494	537,494

硫 安 肥 料

鮮人肥料智識の向上に伴ひ、近來施肥の合理化を叫ばれるに至り、各種金肥需要を促し、就中本品は即効肥料として歓迎せられ、殊に本年は米價高に依る農家の買氣旺盛と、商人筋の思惑買等相俟て移入好況を辿り、一方朝霧工場製品本年内地移出の増進と湯水關係等から、供給兎角圓滑を欠き、旁々本品も亦、關釜間に活動する小型發動機船に依つて、浦項方面經由奥地鐵道沿線仕向品の當港吸收に依り、一層入増を呈するに至つた。相場は外安の輸入採算高、並に販賣統制の結果、高値持續の爲、前年より平均幾分値上りであるが、問題視される生産過剩懸念や、本品を中心とする肥料統制問題の擡頭等に依つて、上値防壓を豫想されるに至り、前途全く不透明の情勢にある。

移入硫安肥料仕出地別數量價額二年比較表

仕 出 地	數 量 (百斤)		價 額 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
神 戸	8,569	6,399	88,109	88,804
下 關	58,834	676	320,173	020
門 司	58,834	1,103	320,173	107,777
其 他	38,020	13,811	224,259	107,777
計	111,257	22,129	752,610	196,601
			1,277,021	1,677,021

硫安肥料平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
朝 鮮 産	十貫匁	3,500	3,500	3,800	3,900	4,000	4,000	3,800	3,800	3,500	3,500	3,600	3,600	3,800	3,900
内 地 産	一貫匁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第四、金銀地金貿易

本年當港に於ける金地金は、移出三千七十七萬餘圓、移入三十二萬餘圓、合計三千百九萬餘圓で、前年に比し移入に於て三百二十四萬餘圓を減退したるも、移出に於て六百七十六萬餘圓の顯著なる出増を示した結果、結局三百五十二萬餘圓の増進を



示し、又銀地金は移出四百九十三萬餘圓、移入一萬餘圓、合計四百九十四萬餘圓で、前年に比し、移出四百五十八萬餘圓、移入二千餘圓の孰れも増加を示し、合計四百五十八萬餘圓の増進を告げた。

移出入金銀地金價額種別二年對照表 (圓)

種別	移出		移入		計	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
金地	三〇、七四、五七〇	二四、〇〇、八六八	三三〇、八五二	三、五六三、七二七	三二、〇九五、四三三	二七、五六九、五九五
銀地	四、九三〇、八五一	三、四三三、二九三	一四、三三〇	一一、〇〇六	四、九四五、一八一	三、五五二、二九九
計	三五、七〇、四二一	二四、三三九、一六一	三五五、一八二	三、五七五、七三三	三六、〇九〇、六四四	三〇、一二、八三四

備考 輸出入皆無なり。以下同じ。

近年我が朝鮮に於ける金鑛業は、本府の産金奨勵強化に因る低品位鑛及廢鑛の利用、動力の低廉供給、機械設備の充實、技術の向上は、金價の昂騰と相俟つて、逐年目覺しき發展を辿りつゝあるが、更に内地資本家の企業投資の増加及産金助長の完璧を期する爲、近く製鍊會社の設立を見るに至る等、一層斯業の進運に拍車をかけ、今や産金一億圓の黄金時代を待機して大飛躍の途上にある。而して本年中の産金額は、稼行鑛區の増加と各鑛山の設備擴充に因りて、四千萬圓突破を豫想せられ之を前年の三千百餘萬圓に比すれば、約三割乃至四割の増進豫定である。又銀地金に於ても、本夏米國政府の銀買入れによる銀價の昂騰は、尠からず本品の稼行を刺戟し、金銀地金界強調の波に乗つて、並行的に躍進を辿るに至つた。

鮮内金銀産額表

年別	金地		砂		銀地	
	數量(匁)	價額(圓)	數量(匁)	價額(圓)	數量(匁)	價額(圓)
昭和八年	二、七三九、〇八八	三六、〇六、七九四	五、四七、九三五	三、三三三、六三三	五、八三〇、五五三	七二、一、六一
同 七年	二、二九一、一四九	一七、八〇、九三八	二、九七、九四六	一、八三三、七三六	四、八九九、七九七	五五、二、七二四
同 六年	二、一三九、七〇〇	九、〇〇、八七二	二、九三三	五、七五、三七八	五、〇三、一三三	一〇六、九、〇〇〇
同 五年	一、五六七、〇三三	六、二〇、七二四	八、二、六八六	四、一、〇一〇	五、七〇、八八四	五八、一、〇七
同 四年	一、四七五、一九八	五、八、八四八、七二〇	五、五二七	二、五、九三八	四、五三、九〇八	五九、八、一〇
同 三年	一、三、四九、四四八	五、五三三、七一九	三、〇、六一五	一、五九、〇六七	四、六五、一七四	五九、六、四四五
同 二年	一、四、二四、四四五	五、七二五、四五七	八、〇、三、四八六	四、八、四、七三三	四、三六、七二七	五、四、二、八八

次に金銀地金の移出入状況を觀るに、金本位停止以來金の價值益々昂騰せると、金保有量の増加は國際貸借、國家經濟の改善好轉に重大なる役割を有する關係上、産金事業は内地及朝鮮を通じて、急速なる發展を招來したが、殊に金の賦存普遍的と稱せられる、鮮内に於ける斯業は頗る活況を呈し、産金額の増加及金價の強調に因りて、顯著なる出増を示し、又銀は米國政府買入に因る相場の高騰から、銀買の投機熱擡頭し、鮮内は勿論支那及滿洲國からの流入銀も手傳つて、著しく移出を刺戟した。移入に於ては銀地金に僅少な需要を増進したが、金地金は金價高の爲鮮内消費の減退せると、滿洲方面に對する密輸出の取締徹底に因りて、極度の減退を告げた。

金銀地金移出價額十年對照表 (圓)



年次	移出	移入	計	移出超過
昭和九年	三五、七〇五、四三二	三三、〇四〇、六〇三	二、六六四、八二九	二、六六四、八二九
昭和八年	二四、三四九、一六一	二七、九二四、八九四	三、五七五、七三三	三、五七五、七三三
同	二八、一七五、二五	三七、八四九、五一八	九、六七四、三九三	九、六七四、三九三
同	三九、四一八、四八七	三九、四六七、七〇五	四九、二一八	四九、二一八
同	二六、六六二、七三三	二六、七一六、一九九	五三、四四七	五三、四四七
同	五、八六二、六九五	五、九二二、一四五	五九、四五〇	五九、四五〇
同	三、四〇八、二九六	三、八一六、五七六	四〇八、〇八〇	四〇八、〇八〇
同	四、六九八、三三四	四、九一九、一八四	二七〇、九五〇	二七〇、九五〇
同	五、八五六、九六一	六、〇二二、四〇五	一五五、四四四	一五五、四四四
同	三、六六五、九六三	三、九三六、三三九	二七〇、三六六	二七〇、三六六

尙本年中金銀貨幣の出入状況を見るに、金貨は前年來移出入共皆無であり、又銀貨は移出三萬二千五百圓を算するのみであつて、前年に比し、移出三萬二千五百圓を増加、移入三萬二千二百八十八圓の減退、合計に於て二百十二圓の増加を示した。其他銅貨及紙幣の移出入左の通り。

移出入金銀貨幣價額種別二年比較表 (圓)

種別	昭和九年		昭和八年		計
	移	出	移	入	
金貨	—	—	—	—	—
銀貨	三、三三三	—	三、三三三	—	三、三三三
計	三、三三三	—	三、三三三	—	三、三三三

種別	昭和九年		昭和八年		計
	移	出	移	入	
銅貨	—	—	—	—	—
紙幣	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

移出入銅貨及紙幣價額二年比較表 (圓)

種別	昭和九年		昭和八年		計
	移	出	移	入	
本邦銅貨及白銅貨	五、二〇〇	六、六五三	九三、九一一	三六〇、一五〇	九九、一一一
朝鮮銀行券	—	—	—	—	—
日本銀行兌換券	四五、〇九	三九、七六五	〇〇	一一三、〇〇〇	六〇
計	五〇、二九九	四六、四一八	九三、九一一	三六〇、一五〇	九九、一一一

第五、通過貿易

外國貨物及内國貨物として、釜山を通過及經由する、内地對滿洲國の貿易貨物で、外國貨物として通過したるものは、内地仕向五十七萬餘圓、滿洲仕向四千四百八十八萬餘圓、合計四千五百四十五萬餘圓で、前年に比し前者は五千餘圓(一分)後者は二千百十七萬餘圓(八割九分)の孰れも増加である。又内國貨物として經由したるものは、内地仕向七百三十二萬餘圓、滿



洲仕向八百七萬餘圓、合計千五百三十九萬餘圓で、前年に比し、前者は二百二十二萬餘圓（二割三分）の減退、後者は二百一十七萬餘圓（三割九分）の増進である。而して内地仕向貨物の大宗は柞蠶絲であるが、本年は産地凶作の爲出荷激減を見た。又滿洲仕向貨物は飲食物類、履物類、車輛類に於て多少の減退を見たるも、綿織絲、綿織物、毛織物。衣類等に於て目覺しき躍進を告げた。詳記すれば左の通りである。

朝鮮通過貨物（陸路）價額二年比較表 (四)

區別	外國貨物		內國貨物		計	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
滿洲仕出	五七二,三三三	五六六,七五六	七,三三四,六〇〇	△三,三三三,六九七	七,八九八,〇三三	一〇,一三四,〇五三
内地仕出	四四,八八一,六八八	三三,七二〇,六二二	八,〇七三,三五七	五,八〇一,五三二	五,二七二,一四五	三,二七二,一四五
滿洲仕向	四四,八八一,六八八	三三,七二〇,六二二	八,〇七三,三五七	五,八〇一,五三二	五,二七二,一四五	三,二七二,一四五
内地仕向	四四,八八一,六八八	三三,七二〇,六二二	八,〇七三,三五七	五,八〇一,五三二	五,二七二,一四五	三,二七二,一四五
計	一,〇六〇,五三三	九四二,七〇六	一五,二二〇,五三九	一〇,九〇六,一四五	一五,二二〇,五三九	一〇,九〇六,一四五

(A) 外國貨物

一、滿洲仕出内地仕向朝鮮通過貨物二年比較表

品名	數 (斤)		價 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
穀物及種子	九一五	一,五六六	△	六五二
柞蠶紡織絲	一五八,九六三	一六〇,四二八	△	一,四六六
綿織物	三七,四八八	一九,三二六	△	一八,一六三
毛織物	五七七	一,一〇三	△	五三三
其他ノ布帛及同製品	一五,四六七	三三,三三三	△	一五,八六五
書籍	三〇,九三四	一一,四九一	△	一九,四四五
機械類	一〇,三三五	四,三三三	△	六,一〇三
其他ノ諸品	九三,九九一	八二,三六一	△	一一,三三〇
計	三〇八,六六九	三二一,八三九	△	三六,八三〇

二、内地仕出滿洲仕向朝鮮通過貨物二年比較表

品名	數 (斤)		價 (圓)	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
穀物及種子	二,四一四	七,四七四	△	五,〇〇〇
穀粉及澱粉類	三一〇,九七五	六,三二〇,五八八	△	五,九九九,六一三
魚介類	四一,九三四	一九七,八五九	△	一五五,九二五
清酒	二六四,七四四	五四九,九〇八	△	二八五,一六四
其他ノ酒類	八二,八九七	二七九,九一五	△	一九五,〇一八
果實及核子	一,九九六,〇四八	三,〇八一,四五八	△	一,〇八五,四一〇
計	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	△	一,〇〇〇,〇〇〇



品名	數量		價額	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
其他ノ飲食物	六二四、六九五	六六三、四七七	四八、八一三	五〇、二六一
皮革及同製品	一四三、二六四	三八、一七六	一〇五、〇八八	一四、六五五
石鹼	二六三、三八九	一五六、六三三	一六、七六五	三〇、七六六
諸藥材及爆發藥	四一八、六八八	五七三、〇九四	四、五二四	一八六、八六五
染料塗料及顏料	三〇一、四〇四	三三四、五〇九	三三、一〇五	一五四、一八九
練綿及打綿	一一九、八七六	六七、三三三	五二、五三五	三六、七八八
綿織	三、六九九七二	三、二四九、〇〇三	四三、〇七九	三、一八一、九三八
其他ノ糸纒繩	一、〇三三、九五五	三〇五、一八四	七二、七七二	一、三五四、一九一
索及同材料	四〇、〇〇九三	三、三六〇、〇三九	三、〇〇〇、〇五五	一、六、五七三、三三三
綿織	三六、二五四	三三、三九一	一、二八六	三、四四〇
麻織	四一四、七九一	一〇九、一〇八	三〇五、六八三	八三三、八五四
毛織	一六八、八九五	九五、六八〇	七三、二二五	一六、〇〇一、七七一
絹織	一、〇〇〇、二七五	七七七、六一六	二一六、六五九	四八六、六八三
其他ノ布帛及同製品	六一九、八九八	四四三、〇三五	一七六、八六三	三、五五、六八八
靴及其他ノ履物	一、三三五、二四八	九二七、〇〇〇	三九八、二四六	五九〇、〇〇〇
衣類及同附屬品	一、三三五、二四八	九二七、〇〇〇	三九八、二四六	五九〇、〇〇〇
紙	一、二六、七九四	七六、七三五	五、〇〇九	一、七、七一九
紙製	一、二六、七九四	七六、七三五	五、〇〇九	一、七、七一九
陶磁	一、九四、〇九九	二〇三、四四四	九、三三三	二九、四六三
鐵及同製品	五五五、一一一	四八〇、八七〇	七四、三〇四	一、四三、九五九

(B) 內國貨物

一、朝鮮經由滿洲仕出內地仕向貨物二年比較表

(釜山港移出貨物)

品名	數量		價額	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
其他ノ金屬及同製品	二六五、七三七	三五四、一六六	一、一、二二二	一、一、二二二
時計、學術器	三五二、七八六	一九二、〇七六	三、一六、七八五	一、七九、九二七
車輛及同部分品	一、三、五二六	二、〇、九三九	一、八、八三三	一、八、八三三
機械類及同部分品	二、四、六一五	二、一、八九九	七、七、八三三	二、八、六〇〇
木材及木製品	二、六、三、〇九六	一、七、一、五八六	一、六、二、三四七	二、九、八七五
遊戲具及玩具	一、八、九、七二六	五、七、三五六	六、二、六七五	三、六、一〇三
護謄及同製品	七、一九三三	三、九、七三三	一、三、一、〇〇〇	一、八、二、二七七
其他ノ諸品	一、二、一、一	一、六、九、八一四	四、四、四、三三	四、四、四、三三
計	五八、五、四六、一〇〇	四三、〇、五三、七六六	一、一、三、三、三三	一、一、三、三、三三

品名	數量		價額	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
小豆	四、五、四五五	五、二、七	六、七、七、七七七	八、六、三五五
生豆	三、三、六、三六	一〇、八、〇、七	一、三、七、七、七	一、一、六、六、六
榨蠶生	二、〇、〇、七、七	二、三、七、七、八、六、三	六、五、四、〇、六、九、八	九、一、六、九、六、四、七



品名	單位	數量		金額	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
榨蠶絲及類	斤	四三九,三七七	六五,〇四七	三七六,七五七	五三,三四七
同	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
繭	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
生絲	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
其他及同類	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
索及同類	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
毛皮	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
衣類及同附屬品	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
時計及同附屬品	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
船舶及諸機械	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
其他ノ諸品	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
合計	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四

二、朝鮮經由內地仕出滿洲仕向貨物二年比較表

(釜山港移入貨物)

品名	單位	數量		金額	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
菓	斤	四,〇九七,四六三	三,七九三,一八七	一,九九九	二,五五八
柑	斤	九七,二九六	四七,六七三	二,五六三,三九七	二,四八,九一八
茶	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
製	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
革	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
合計	斤	四,二一七,一六五	三,八四七,八二九	五,八〇八,一六〇	五,〇〇〇,〇〇〇

品名	單位	數量		金額	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
賣藥	斤	四七,六五八	三三,三一九	二八,六六六	九六,二二二
染料	斤	一,〇六一	一,一四六	一,七五三	三,二二四
綿絲	斤	四,〇九七,四六三	三,七九三,一八七	一,九九九	二,五五八
毛絲	斤	九七,二九六	四七,六七三	二,五六三,三九七	二,四八,九一八
布帛及同製品	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
和服	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
洋服	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
洋服	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
肌衣	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
靴袋	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
日本足袋	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
護謨底靴	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
護謨底靴	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
其他(含地下足袋)	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
其他ノ靴	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
其他ノ履物	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
其他ノ計	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
其他ノ衣類	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
其他ノ附屬品	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
和紙	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
書籍及雜誌	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
其他ノ紙及紙製品	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇
合計	斤	二二,一六六	六,八五九	三,四一,七一五	一七,四六〇



品名	單位	釜山(自休)	京城(通過)	其他/鮮内(通過)	滿洲(通過)	計(釜山港貿易額)
陶磁器及 其他/粘土製品						一八、四六六
金屬製品						三〇八、九三六
時計、學術器及銃砲						一六、八八八
車輛及船舶						一九、四〇七
機械類						四八、六二七
木製品						二四、九〇三
ラムプ及同部分品						三一、九二四
遊戲具及玩具						五二、二七三
其他ノ諸品						四三、一四三
合計						二、二七、七三六

鮮内仕出仕向地別に觀たる釜山港對内地貿易

内地對滿洲貿易の釜山港通過及經由貨物の狀況は、前述の通りであるが、當港對内地貿易に於ける、鮮内仕出地及仕向地別貿易狀況を檢討すれば、大体左表の通りで、之に依つて釜山自体及地方別直取品の實情略察知せられる。併し本調査は鐵道便に依る、貿易貨物を主としたる調査に屬するを以て、實際の需給とは必しも符合する譯でないが、貨物の移動狀況に關する參考資料として掲記する。

(A) 移出

仕出地	品名	單位	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
釜山	支米	石	六、七、二〇、〇〇九、二七		〇		七、四、八、〇〇八		七、四、八、〇〇八			
釜山	精米	同	一、〇、九、八、七、八、五、三、六、七、八、八、六、三、二		九	二、八、三	一、九、六、四、〇		四、五、六、五、一〇			
釜山	大豆	同	七、六、四、九、九			三、三、九、三、三		三、九、九、三、三				
釜山	煮乾鰻	斤	七、〇、五、一、八、六、二		三、六、〇	一、三、一	三、八、三、七、七		九、一、四、〇			
釜山	明太魚卵	同	三、九、〇、四、四、七		二、六、七、五、四	八、三、八、〇	一、〇、六、四、四、六		三、一、八、八、八			
釜山	乾海苔	同	一、五、六、九、八、二		四、四、一	七、五、五	一、五、九、九、二		三、三、六、七、八			
釜山	林檎	同	九、六、七、八、七、四		一、三、〇、九、九、八	一、六、一、〇、四、一	一、〇、五、七、八、六、六、五		一、三、五、三、一、二、七			
釜山	牛皮	同	二、八、一、九、六、六		〇、一、一、二、二	六、一、五	一、〇、〇、六、三、三		五、三、五、八、三、五			
釜山	綿	百斤	一、八、八、六、二			一、一、三、七、一、一、六		一、一、三、七、一、一、六				
釜山	家畜繭	斤	八、八、〇、八		一、五、五、三、一、〇	一、三、五、八、七、八	五、五、〇、三、一、〇		五、五、九、五、七、八			
釜山	生絲	同	一、九、八、〇、〇		二、九、三、〇、五、六	一、五、〇、四、二、八、〇	一、五、五、四、八、四、六		七、九、八、九、〇、三、九			
釜山	柞蠶生絲	同					〇、〇、七		〇、一、一、一、〇			
釜山	牛頭	同	三、七、四、七、五						〇、七、七、〇、〇、七、〇			
釜山	小包郵便物	同	五、九、九、七、一、八、三						〇、七、一、三、七、〇、〇、六、八、八			
釜山	其他ノ諸品	同	〇、〇、一、一、一、〇、七、七						七、七、一、三、三、三、三、三			
釜山	計		六、七、三、六、四、八、四、九		四、二、三、三、七、七、七、七、七	四、二、三、三、七、七、七、七、七	三、三、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇		三、三、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇			
釜山	總額ニ對スル百分比		六、八						二、二			



前年百分比	100
(B) 移入	58
京城(通過)	6
其他ノ鮮内、通過)	35
滿洲(通過)	11
計(釜山港貿易額)	100

仕向地	品名	單位	釜山(自体)		京城(通過)		其他ノ鮮内、通過)		滿洲(通過)		計(釜山港貿易額)	
			數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
柑橋類	斤	16,058,160	1,019,624	2,443,733	180,970	4,494,010	355,218	4,097,463	356,997	2,773,199	1,773,199	
礦油	斤	—	3,248,361	—	3,554	—	29,361	—	21,883	—	3,301,659	
綠綿	百斤	105,933	5,606,735	6	180	1,973	78,300	—	1,072,787	107,911	5,685,215	
綿織物	斤	1,041,543	873,590	398,383	396,899	3,374,996	3,134,660	1,072,787	883,453	5,897,209	5,288,601	
綿織物	方碼	23,530,395	4,866,655	3,089,173	736,606	13,617,003	2,870,924	—	40,236,549	10,236,549	8,474,185	
絹織物	同	6,107,333	2,831,145	327,055	152,118	3,589,108	1,576,699	—	10,135,935	4,559,963	5,575,233	
洋服	—	—	695,959	—	1,239,145	—	2,710,585	—	651,733	—	5,297,433	
肌衣	—	—	1,111,979	—	1,066,114	—	2,295,793	—	246,041	—	4,759,927	
地下足袋	—	—	419,584	—	356,510	—	2,769,545	—	49,274	—	3,594,913	
洋紙及和紙	斤	7,214,390	1,517,346	215,623	82,034	1,173,741	341,184	63,422	22,409	8,666,854	1,962,973	
書籍及雜誌	—	—	26,326	—	82,474	—	743,989	—	288,994	—	2,112,773	
石炭	噸	157,721	1,577,911	—	—	—	83	—	3	157,721	1,577,911	
自動車及同部分品	—	—	210,634	—	1,243,470	—	676,755	—	51,801	—	3,988,361	

仕向地	品名	單位	釜山(自体)		京城(通過)		其他ノ鮮内、通過)		滿洲(通過)		計(釜山港貿易額)	
			數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
機械類	—	—	11,021,016	—	1,638,953	—	3,049,188	—	197,411	—	6,947,308	
木材	—	—	1,666,333	—	77,477	—	73,356	—	2,427	—	1,759,593	
小包郵便物(織物ヲ除ク)	—	—	2,888,418	—	—	—	—	—	—	—	2,888,418	
其他ノ諸品	—	—	39,180,546	—	22,875,910	—	26,698,535	—	5,410,931	—	94,156,923	
計	—	—	21,736,701	—	30,844,119	—	32,363,175	—	8,077,257	—	158,109,233	
總額ニ對スル百分比	—	—	44	—	19	—	30	—	5	—	100	
前年百分比	—	—	47	—	19	—	30	—	5	—	100	

### 第六、加工貿易

當港を出入する貿易貨物中、原料品を移入し加工又は製造品を移出するものに、(A) 綿織糸を移入し製織品を移出するもの、(B) 羽二重富士絹人絹布等絨用生地を移入し、之れに絨加工を爲したる後移出するもの、(C) 人絹布及亞麻布等の刺繡用生地を移入し、之れに刺繡を施したる後移出するもの等がある。之れが概況を述べれば左の如くである。

#### (A) 緋木綿

本品は大部分久留米地方に於ける問屋筋と請負契約に依る、全鮮各地の刑務所製品に屬するが、近年人絹の脅威を受け、賣行き減退から、斯業も亦不振を免れず。殊に本年は生糸の暴落から、問屋筋の生産手控へに因る影響を蒙り、減退を告げた。而して原糸の移入額に就ては、他の移入綿織糸と區別して計數的に擧ぐることは至難であるが、移出緋木綿は本製品に屬するものが大部分で、参考に最近二ヶ年に於ける、移出高を對照表示すれば左の通りである。



釜山港に於ける緋木綿の移出高二年對照表

年 別	數	量 (方碼)	價 格 (圓)
昭和九年		七五九、一九四	五四三、七八三
昭和八年		八二二、六八一	六〇七、四四三

(B) 絞り及刺繡加工品

絞り加工業は鮮人婦女子の好適なる家内工業として、最も歓迎せられ、逐年加工地域の擴大と技術の向上は、工賃の低廉と相俟つて、目覺しき發展を辿り、今や斯業は完全に鮮人婦女子の獨占するに至つた如き感がある。而して本年當港に於ける絞り加工用生地の移入額は、九十九萬餘方碼、六十八萬七千餘圓で、前年に比し三十二萬七千餘方碼、二十五萬九千餘圓の著しき増進で、左表の通りであるが、之を名稱別に觀れば、風呂敷の四十一萬四千餘方碼、二十三萬五千餘圓を筆頭に帶揚二十三萬餘方碼、十九萬八千餘圓、袴十七萬四千餘方碼、九萬五千餘圓、鹿の子九萬四千餘方碼、七萬一千餘圓、着尺四萬四千餘方碼、四萬三千餘圓、兵兒帯一萬八千餘方碼、三萬餘圓が主なるものであるが、最近高級品移入増加の傾向を示し、殊に本年に於ては、絹羽二重の著しき入増が注目し得る。又刺繡加工業も漸次發展の道程を辿り、本年に於ては更に半襟用絹羽二重及人絹絹交織布生地等の新規入荷を見るに至つた。尙刺繡加工用亞麻布は肌布巾、褙掛等で、之等は孰れも加工仕上の上、内地に移出せられたる後更に米國に輸出せられるものが大部分である。

尙當港移出絞り及刺繡加工品の、主なる加工地を擧ぐれば左の如くである。

絞り加工地	全北 益山郡	忠南 扶餘郡
慶北大邱府	慶北金泉郡	
同 善山郡	同 漆谷郡	
慶南咸安郡	慶南釜山府	
同 宜寧郡	同 昌寧郡	
忠北清州郡	同 密陽郡	

釜山港に於ける絞り及刺繡加工用生地移入額二年比較表

品 質 別	昭和九年		昭和八年	
	數 量 (方碼)	價 額 (圓)	數 量 (方碼)	價 額 (圓)
絞り加工用 絹羽二重	三三、九七六	三、二六三	一六、六六三	一、三三三
同 絹縮類	一、六八三	一、一五七	八四、九七三	六、九〇七
同 富士絹	三、八四三	三、〇三三	三、七七八	三、〇三三
同 絹銘仙	四、二二三	三、九七七	九、〇七〇	六、九三三
同 絹 袖	一、六、四六七	一、三、三八八	五、八八〇	四、一四三
同 絹節絹	七、七五五	五、四四六	一、	一、
同 人絹布及人絹交織布	一〇、九三三	一、七、一〇〇	一、八、〇九七	五、五五六
同 絹綿交織布	一、七五	一、一三	一、	一、
同 毛織物	四、五〇	三、三	一、	一、



第六加工貿易

品名	昭和九年	昭和八年
総計	240,014	227,204
刺繡加工用	233	290
同 絹羽二重	6,299	6,484
同 人絹布	676	—
同 人絹、絹	1,211	—
同 交織布	400	—
同 亞麻布	1,218	—
計	9,799	6,484
同 計	9,799	6,484
同 計	9,799	6,484

二六六

釜山港に於ける絞り及刺繡加工品移出額二年比較表

品名	昭和九年	昭和八年
総計	1,471	1,401
同 絹羽二重	27,614	27,614
同 絹縮編	11,574	11,574
同 富士絹	202	202
同 絹銘仙	4,257	4,257
同 絹節絹	4,930	4,930
同 人絹布及人絹交織布	9,118	9,118
同 絹縮交織布	161	161

第七、保稅倉庫

私設保稅倉庫

品名	昭和九年	昭和八年
同 毛織物	210	210
同 計	2,100	2,100
刺繡加工	300	300
同 人絹布	5,000	5,000
同 人絹、絹交織布	676	676
同 亞麻布	2,598	2,598
同 計	10,274	10,274
總計	12,374	12,374

本港に於ける本年末現在の私設保稅倉庫は左表の通りであつて、前年末に比し朝鮮興業株式會社の業務を、朝鮮米穀倉庫株式會社が引継ぎたるのみなり。

所在地	構造	棟數	坪數	經營者	營業開始年月
稅關構内	煉瓦造瓦葺	二	三六	株式會社 朝鮮商業銀行	大正十一年四月

第七保稅倉庫



第七 保税倉庫

二六八

東 萊 郡 西 面	木 造 亞 鉛 板 葺	一	三三三	昭和五年二月
同	露 天 地 域	一	六六六	昭和八年二月
府 内 大 倉 町 四 丁 目	木 骨 亞 鉛 板 葺 亞 鉛 板 葺	一	二二二	昭和九年九月
	木 骨 土 藏 煉 瓦 葺 瓦 葺	一	二二二	

備考 官設保税倉庫は昭和四年六月廢止せられた。

次に本年中本倉庫に於ける貨物の出入状況を表示すれば左の如くである。

入出庫貨物噸數價額二年比較表

區 別	種 別	噸 數 (噸)		價 額 (圓)	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
入 庫	外國貨物	四、八〇〇	七、三三三	四三六、八四二	六三一、七四九
	內國貨物	一三、四三三	九、八二三	一、二五八、一〇八	五八九、六三三
出 庫	外國貨物	一八、三三三	一六、五五六	一、六九六、九四九	一、三三三、七七一
	內國貨物	一、一〇一	七〇、七〇六	四九三、一九九	五八二、六九五
年 末 殘 高	外國貨物	一〇、一〇〇	七、七〇六	六〇、五六三	八四、九三三
	內國貨物	二、六七七	一、六三七	二八、八九三	一一、九七三
計		三、一七二	三、三三三	三、五〇〇、三六六	二、〇六、八九三

註 本年中出入内國貨物の主要なるものは玄米、小麦、大豆、砂糖、礦油等であつた。

入出庫外國貨物價額種別二年比較表 (圓)

種 別	入 庫		出 庫		年 末 殘 高	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
穀 物	三一、六四六	六〇、五三三	三一、五二六	六一、四〇〇	一、六四三	一、五〇三
飲 食 物	八二、七三〇	二二、一四四	八一、五七三	一、六〇一	二、〇〇〇	一、三三三
布 帛 及 同 製 品	一、〇〇六	一、五三四	一、六七一	九	九、五三八	一、三三三
礦 油 類	三二、三七九	四、五三八	三三、七七一	〇〇	七、〇〇〇	六、七三三
其ノ他ノ諸品	四八〇	一、五二二	五六八	一、五四三	三、四三三	四、〇〇〇
合 計	四八、八四二	九一、七四九	四六、三一九	五八、二六五	六、〇六三	八、四三三

第八、保税工場

私設保税工場

本年末現在の私設保税工場は左表の如くであつて、豫て私設上屋經營中の大酢醸造株式会社及増永市松が保税工場に変更した。

第八 保税工場

二六九







計		1,181,400	計	保稅工場移入	2,118,700	1,104,000
---	--	-----------	---	--------	-----------	-----------

岸工場

(昭和九年)

品名	移入		品名	移出	
	數量	價額		數量	價額
原油及重油	505,369 ガロン	71,644	原油及重油	505,369 ガロン	91,202

旭工場

(昭和九年)

品名	移入		品名	移出	
	數量	價額		數量	價額
原油及重油	1,106,384 ガロン	169,386	原油及重油	1,093,595 ガロン	181,541

林兼工場(羅老島)

(昭和九年)

品名	移入		品名	移出	
	數量	價額		數量	價額
原油及重油	693,304 ガロン	96,866	原油及重油	672,439 ガロン	96,077

林兼工場(方魚津)

(昭和九年)

品名	移入		品名	移出	
	數量	價額		數量	價額
原油及重油	1,918,101 ガロン	316,000	原油及重油	1,255,581 ガロン	174,800

増永工場

(昭和九年)

品名	移入		品名	移出	
	數量	價額		數量	價額
糖蜜	289,703	5,417	變性糖蜜	291,312	5,593
フーゼル油	724	135	輪入	724	
原油	724	3			
石灰	54	1			
石柄	102	9			
計	291,312	5,593	計	291,312	5,593

大鮮工場

(昭和九年)

移入、移出共になし。



### 第九、私設上屋

本港に於ける本年末現在の私設上屋は左表の通りである。前年末に比し朝鮮米穀倉庫株式會社の増加、増永市松、大鮮醸造株式會社の保税工場に變更による減少を見た。

所在地	構造	棟数	坪数	經營者	營業開始年月
府内 佐川町	露 天 地 域	—	—	若狭榮市 大二商會共同	昭和七年九月
東 萊 郡 西 面	木造 亜鉛板 張 亜鉛板 葺 平家	—	一五	合資會社 中島商店	同 八年七月
税關構内 第二埠頭基部	鐵筋 コンクリート 二階建	—	六〇〇	朝鮮米穀倉庫株式會社	同 九年一月

### 私設上屋貨物搬入(出)高表

(昭和九年)

品名	搬入		搬出		上屋別
	量	價額(圓)	量	價額(圓)	
原木	三、四〇六	三〇、六八四	—	—	若狭、大二共同
酒精	六、一五三	一九、三九五	—	—	中島商店
支米	一七六、一七〇	一、七六、一七〇	—	—	朝鮮米穀倉庫株式會社
糖蜜	三、八四四、四三三	一三七、〇九六	—	—	増永市松
同	五、六六二	一一、七三四	—	—	大鮮醸造株式會社

### 第十、運輸交通

#### (一) 船舶

本年釜山港入港貿易船舶は、汽船三千八百八十六隻、三百四萬一千餘噸、帆船三千五百六十隻、九萬二千餘噸、合計七千四百四十六隻、三百十三萬三千餘噸で、前年に比し、汽船は隻數に於て二百五十四隻を増加したるも、噸數に於て十二萬四千餘噸を減退し、帆船は二百三十六隻、一萬五千餘噸の増進を示した爲、結局合計に於て四百九十隻を増加したが、噸數に於て十萬九千餘噸の減退を示した。又出港船舶は、入港船舶と同様の振合で、隻數に増加し噸數に減退を告げた。

#### 入出港貿易船舶隻數及噸數船種別二年比較表

船種	昭和九年		昭和八年		増減(△)							
	隻	噸	隻	噸	隻	噸						
入港	汽船	三、八六六	三、四三三	三、五六〇	三、三三四	三、〇五一	三、四四三	△	三、一六六	三、一〇〇	△	三、四四、六七八
	帆船	七、四四六	六、九五六	六、九五六	六、九五六	—	—	—	—	—	—	—
出港	汽船	三、八六二	三、六二八	三、二九九	三、二四四	三、〇三六	三、八八〇	三、一〇三	七六、八五七	△	三、一〇三	三、一〇三
	帆船	三、五二二	三、二九八	三、二九九	三、二四四	—	—	—	—	—	—	—
計	汽船	七、三三二	七、〇六六	六、七二七	六、五八八	六、〇五二	六、七二四	五、一四六	三、二六六	△	三、二六六	三、二六六
	帆船	一〇、九六八	一〇、二五二	一〇、二五二	一〇、二五二	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

#### 入港貿易船舶隻數及噸數月別二年比較表



月別	昭和九年		昭和八年		増減(△)	昭和九年		昭和八年		増減(△)
	隻	噸	隻	噸		隻	噸	隻	噸	
一	五五五	三,四七〇	五二七	三,一〇〇	△	二五七	三,三〇七	二五八	三,四九八	△
二	五二四	三,一〇〇	五二七	三,一〇〇	△	二五八	三,三〇七	二五八	三,四九八	△
三	五三六	三,二〇〇	五三六	三,二〇〇	△	二八八	三,四八八	二九八	三,五八九	△
四	六六八	三,七〇〇	六六八	三,七〇〇	△	二八八	三,四八八	二八八	三,五八九	△
五	七五七	四,一〇〇	七五七	四,一〇〇	△	二八八	三,四八八	二八八	三,五八九	△
六	六六四	三,六〇〇	六六四	三,六〇〇	△	二八八	三,四八八	二八八	三,五八九	△
七	六四三	三,五〇〇	六四三	三,五〇〇	△	二八八	三,四八八	二八八	三,五八九	△
八	六〇六	三,四〇〇	六〇六	三,四〇〇	△	二八八	三,四八八	二八八	三,五八九	△
九	五九九	三,三〇〇	五九九	三,三〇〇	△	二八八	三,四八八	二八八	三,五八九	△
十	五七三	三,二〇〇	五七三	三,二〇〇	△	二八八	三,四八八	二八八	三,五八九	△
計	五,七七三	三,五七〇	五,七三三	三,五三〇	△	二,八七三	三,四七三	二,八七三	三,四七三	△
均計	七,四四六	四,九〇〇	六,九九六	四,八五〇	△	二,四五〇	三,〇〇〇	二,四五〇	三,〇〇〇	△
合計	六二二	三,〇〇〇	五〇〇	二,〇〇〇	△	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	△

入港貿易船舶隻數及噸數船種別五年對照表

年次	汽		船		帆		船		計	
	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸
昭和九年	三,八八六	三,〇四一	三,五〇六	三,〇四一	三,五〇六	三,〇四一	七,四四六	三,〇四一	七,四四六	三,〇四一
同八年	三,六三三	三,〇四一	三,三〇四	三,〇四一	三,三〇四	三,〇四一	六,九三六	三,〇四一	六,九三六	三,〇四一
同七年	三,四七一	三,〇四一	三,〇九六	三,〇四一	三,〇九六	三,〇四一	六,五三七	三,〇四一	六,五三七	三,〇四一
同六年	三,三四四	三,〇四一	二,六三八	三,〇四一	二,六三八	三,〇四一	五,九八二	三,〇四一	五,九八二	三,〇四一
同五年	三,一〇三	三,〇四一	二,四八八	三,〇四一	二,四八八	三,〇四一	五,六六四	三,〇四一	五,六六四	三,〇四一

而して入港貿易船舶を資格別に観れば、外國貿易船百三十隻、二十萬六千餘噸、内地貿易船七千三百十六隻、二百九十二萬七千餘噸で、前年に比し、前者は三十三隻、二萬九千餘噸を減退し、後者は五百二十三隻を増加したるも、噸數に於て八萬餘噸の減退を示した。更に國籍別に檢すれば、増加したるものは内地籍四百二十三隻を筆頭に、朝鮮籍八十隻、中華民國籍九隻、關東州籍五隻で、其他諾威、露西亞、英吉利及滿洲各國籍船は孰れも減退を告げた。又入港汽船を總噸數別に調査すれば、一千噸未満一千八百四十隻、三千噸未満九百八十四隻、五千噸未満一千四十二隻、五千噸以上二十隻で、之を前年に比するに、一千噸以上三千噸未満の船舶百十五隻を減退したが、一千噸未満三百五十八隻、五千噸未満十隻、五千噸以上一隻を各増加し就中一千噸未満に於て、著しく増加を示したことは注目に値する。



國籍	入港		出港		國籍
	内地貿易船	外國貿易船	内地貿易船	外國貿易船	
内地	1,000	1,000	1,000	1,000	内地
朝鮮	958	958	958	958	朝鮮
關東州	110	110	110	110	關東州
滿洲	12	12	12	12	滿洲
中華民國	12	12	12	12	中華民國
英吉利	3	3	3	3	英吉利
露西亞	3	3	3	3	露西亞
其他諸國	1	1	1	1	其他諸國
計	2,111	2,111	2,111	2,111	計
内地	6,378	6,378	6,378	6,378	内地
朝鮮	951	951	951	951	朝鮮
關東州	19	19	19	19	關東州
滿洲	4	4	4	4	滿洲
中華民國	19	19	19	19	中華民國
英吉利	1	1	1	1	英吉利
露西亞	1	1	1	1	露西亞
其他諸國	1	1	1	1	其他諸國
計	7,466	7,466	7,466	7,466	計
昭和九年	2,111	2,111	2,111	2,111	昭和九年
昭和八年	6,002	6,002	6,002	6,002	昭和八年
増減(△)	△	△	△	△	増減(△)
昭和九年	2,658,811	2,658,811	2,658,811	2,658,811	昭和九年
昭和八年	2,640,111	2,640,111	2,640,111	2,640,111	昭和八年
増減(△)	△	△	△	△	増減(△)

入出港貿易船舶隻數及噸數國籍別二年比較表

資格	入港		出港		資格
	内地貿易船	外國貿易船	内地貿易船	外國貿易船	
昭和九年	1,000	1,000	1,000	1,000	昭和九年
昭和八年	1,263	1,263	1,263	1,263	昭和八年
増減(△)	△	△	△	△	増減(△)
昭和九年	10,011	10,011	10,011	10,011	昭和九年
昭和八年	10,011	10,011	10,011	10,011	昭和八年
増減(△)	△	△	△	△	増減(△)

近年鮮内産業の改善發達に伴ひ、貿易品の生産著しく増加したるのみならず、良品廉價に因りて益々商圏の擴大を促し、殊に對外國貿易中、南洋方面に對する取引の増進から、本年四月多年要望に屬したる、南洋航路船の定期釜山寄港開設を見たる外、更に日滿經濟「ブロック」の強化に伴ひ、大連方面との交易頗る頻繁を極めた。又對内地貿易に於ては、産業部門の全般的活況に依る經濟界の好轉に伴ひ、購買力の擡頭を喚起し、荷動き好調を辿り、從つて海運界は異狀の盛況を呈し、定期航路船の航海度數の増加を始め、不定期航路船の配船増及臨時船の入津等に因りて、如上の如く、貿易船舶の入増を促すに至つた。而して近時對内地貿易は運賃關係及輸送の簡易化から、小型汽船の利用増進の結果、入港船舶の増進に拘らず、噸數の減退を免れなかつた。

入出港貿易船舶隻數及噸數國籍別二年比較表



露西亞	一	七	△	七	一	11,014	△	11,014
其他諸國	一	二	△	一	一	11,014	△	11,014
計	七、三六四	六、九七七		四七〇	三、三六〇	三、三六〇		三、三六〇

定期命令航路一覽表

(昭和九年十二月末現在)

命令別	線路	航海度數	船名		總噸數	經營者
			使用	船		
朝鮮總督府	雄基・大阪線	二七回	榮江丸	一	1,120	朝鮮郵船株式會社
同	雄基・東京線	二九回	長壽丸	一	972	朝鮮郵船株式會社
同	釜山・浦蘆斯德・大阪線	三〇回	金剛丸	一	2,126	同
同	新義州・東京線	二四回	成鏡丸	一	2,965	同
同	新義州・大阪線	四二回	漢江丸	一	3,104	同

官督	臺灣總督府	長崎(福岡縣命令併用)	同	同	同	同
關釜連絡船	臺灣・朝鮮・滿洲線	長崎・壹岐 對馬・釜山線	釜山・博多線	朝鮮・長崎・大連 甲線 乙線	朝鮮・北海道・大連線	朝鮮・上海線
日	月	月	年	年	年	年
二回	二回	六回	三三六回	各一八回	二五回	一八回
昌慶丸	德壽丸	景福丸	岩手丸	岐阜丸	博陸丸	珠江丸
錦江丸	清津丸	日本丸	明石丸	朝鮮丸	平安丸	
三、六二九	三、六二九	三、六二九	二、九二八	二、九二八	五、四九九	八〇〇
鐵道省	鐵道省	鐵道省	近海郵船株式會社	同	北九州商船株式會社	朝鮮郵船株式會社

備考 關釜連絡貨物航路は省く。次表又同じ。

定期命令航路二年比較表



線路	航海年度		増減(△)	使用船舶數		増減(△)	同上總噸數		増減(△)
	昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
雄基大阪線	年二七回	年四〇回	△	二	三	△	三、三八四	一、三五三	△
雄基東京線	年二九回	年一四回	一五	二	一	一	四、八〇二	二、一三一	二、六七〇
釜山浦鹽大阪線	年三〇回	年三〇回		二	二		四、三二一	四、三二一	
新義州東京線	年二四回	年二四回		二	二		六、一六七	六、一六七	
新義州大阪線	年四二回	年三六回	六	三	三		三、八四七	三、八四七	
朝鮮上海線	年一八回	年一八回		一	一		二、〇九二	二、〇九二	
朝鮮北海道大連線	年二五回	年二五回		三	三		八、五二八	八、五二八	
朝鮮長崎大連線	年各一八回	年各一八回		二	二		二、五九三	二、五九三	
釜山博多線	年三三六回	年各一八回	△年 三九回	二	一	一	一、三三〇	〇〇〇	一、三三〇
長崎壹岐對馬釜山線	月六回	月六回		一	一		五、四九	五、四九	
臺灣朝鮮滿洲線	月二回	月二回		二	二		一〇、八五七	一〇、八五七	
關釜連絡船	日二回	日二回		二	二		五、八五二	五、八五二	
計				二五	二五		三三、三九九	三三、三九九	

次に全鮮主要港に於ける、最近五年間の對外國及内地貿易船舶の入港噸數を、表示すれば左の如くである。

全鮮港別對外國及内地貿易船舶入港噸數五年對照表 (登録噸數)

港別	昭和九年	昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年
釜山	五、一三三、三三五	五、三二二、九七七	五、一四七、五二二	三、〇八八、〇一一	五、〇四一、九三三
木浦	七二六、二八八	七五三、四二二	七三四、九五五	七三三、〇九五	七四二、五七七
馬山	一五五、四〇一	一三三、四七八	一五八、八九七	一九一、五六九	一六一、九二六
仁川	五、六四四	四、七八二	五、六三三	四、一三三	五、五三三
群山	一、三九四、一四七	一、三九七、四四三	一、三九七、三九四	一、三三三、〇五二	一、三六六、三三〇
元山	八四二、二九五	八四八、二二六	七九七、一三一	五七九、六〇九	七〇五、八〇〇
城津	五八九、三三六	六五五、四〇二	五六八、六八三	五五一、四三九	四〇四、一五九
清津	四六五、五八四	四六八、〇〇一	四五二、〇七三	四〇八、三〇〇	四〇〇、一五一
雄基	一、〇九、三三五	九三一、七四三	七三五、三三四	六三四、五六一	七三五、〇七八
新義州	七七五、七六三	六二五、三三〇	三九七、九七五	三七八、〇三〇	三六三、五三〇
龍岩	五七、一八〇	一〇一	五四、五九三	五三、七七〇	四九、二九三
鎮南	三、一四一、九五六	三、三〇、二九〇	三、三八、七〇二	一、九〇九、七六八	一、二〇一、二〇一
其他	一、〇九、〇二〇	一、〇三、五九三	一、〇〇、七六七	九五〇、一八一	八二四、三三八
合計	三、七三六、六六三	三、六八、七八	三、九八〇、九〇一	三、三三三、六一	三、七三六、〇一〇

尙當港を基終点とする本年の鮮内沿岸定期主要航路を掲ぐれば、大体左の如くである。







観れば左表の如く、輸入貨物に減退したる外、孰れも増進を告げ、殊に對内地貿易の目覺しき發展に伴ひ、移出入貨物の荷動き活況を呈した。

貿易貨物噸數種別二年比較表 (噸)

種別	昭和九年		昭和八年		増減 (△)
	噸數	増減	噸數	増減	
輸出貨物	1,873,737		1,635,335		238,402
輸入貨物	2,455,823		1,531,810	△	924,013
移出貨物	829,792		684,908		144,884
移入貨物	1,030,033		811,828		218,205
運送貨物	1,163,388		868,876		294,512
積戻貨物	6,212		3,658		2,554
通過貨物	1,281,121		1,271,121		10,000
合計	2,150,861		1,271,121		879,740

貿易貨物噸數月別二年比較表 (噸)

月別	昭和九年		昭和八年		増減 (△)
	噸數	増減	噸數	増減	
一月	180,867		112,112		68,755
二月	121,202		101,021		20,181
三月	109,035		114,131		-5,096
四月	180,867		144,192		36,675
五月	151,613		133,700		17,913
六月	159,192		126,937		32,255
七月	161,157		146,335		14,822
八月	163,355		153,746		9,609
九月	160,112		149,462		10,650
十月	215,262		181,988		33,274
十一月	356,802		198,102		158,700
十二月	1,031,121		1,171,737		-140,616
合計	2,150,861		1,271,121		879,740
平均	179,238		105,927		73,311

輸移出入貿易貨物噸數十年對照表 (噸)



年次	輸移出		輸移入		計
	積	卸	積	卸	
昭和九年	八四八、五三六	一、一八六、三三三	九六四、六三八	二、〇三四、七九八	
同八年	七〇一、四三三	一、一八六、三三三	九六四、六三八	一、六六六、〇七一	
同七年	七〇四、一五五	八五九、一七六	八五九、一七六	一、五六三、三三一	
同六年	七五四、三三三	七五八、八二六	七五八、八二六	一、五一三、一八三	
同五年	五三三、〇四三	八六五、八三〇	八六五、八三〇	一、三九七、八七三	
同四年	六〇七、一〇〇	九五一、〇四三	九五一、〇四三	一、五五八、一四三	
同三年	七五七、四七七	九一一、四六〇	九一一、四六〇	一、六六八、九三七	
同二年	七九〇、〇九三	八九〇、一一六	八九〇、一一六	一、六八〇、二〇九	
同元年	六六〇、五二六	七九三、五五三	七九三、五五三	一、四五三、〇八九	
大正十四年	六三三、七五五	六四〇、六五四	六四〇、六五四	一、二七四、三九九	

次に船舶に依る釜山港貿易貨物を調査するに、船積貨物八十五萬一千餘噸、船卸貨物百三十二萬六千噸、合計二百一十七萬八千餘噸で、前年に比し、前者は十四萬六千餘噸、後者は二十七萬八千餘噸の各増進を示し、更に之を貨物藏置場所別に觀れば左表の如く減退したものは僅に第一埠頭に於ける船積貨物のみで、其他は積卸貨物孰れも一齊に増進を告げ、就中第二埠頭に於ける積卸貨物著しく活況を呈した。

船舶に依る釜山港積卸貨物噸數表

(昭和九年) (噸)

區別	汽		船		帆		船		合	
	積	卸	積	卸	積	卸	積	卸	積	卸
第一埠頭	一三六、八五七	五六七、九六五	四九	—	—	—	一三七、二六六	—	一三六、八五七	五六七、九六五
第二埠頭	二二〇、四三七	八四、三八八	七五、四八七	四三三	—	—	二二〇、四三七	八四、三八八	二二〇、四三七	八四、三八八
第一埠頭基部	四、三三三	七、八〇四	六三三	一九、〇五八	—	—	四、三三三	七、八〇四	四、三三三	七、八〇四
第二埠頭基部	一、七五、一六八	五七八、三二九	一、三九、三三三	一、四四、四四四	—	—	一、七五、一六八	五七八、三二九	一、七五、一六八	五七八、三二九
其他	七、二二七	一、〇一、〇一〇	一、三九、三三三	三、七、八七五	—	—	七、二二七	一、〇一、〇一〇	七、二二七	一、〇一、〇一〇
計	一、三六、八五七	一、三六、八五七	一、三六、八五七	一、三六、八五七	—	—	一、三六、八五七	一、三六、八五七	一、三六、八五七	一、三六、八五七

備考 本表には内地通航船に依る、對鮮内各港關係貨物(即ち沿岸貨物)噸量を含む。

釜山港積卸貨物噸數二年比較表 (噸)

區別	船積		船卸		計	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
第一埠頭	一三七、二六六	一三八、八五三	△	—	一三七、二六六	一三八、八五三
第二埠頭	二二〇、四三四	二六五、八三四	—	—	二二〇、四三四	二六五、八三四
第一埠頭基部	四、〇五五	四、二九二	—	—	四、〇五五	四、二九二
第二埠頭基部	一、七五、一六八	一、七五、一六八	—	—	一、七五、一六八	一、七五、一六八
其他	七、二二七	七、二二七	—	—	七、二二七	七、二二七
計	八五三、一八六	八五三、一八六	—	—	八五三、一八六	八五三、一八六



(B) 鐵道貨物

釜山、草梁及釜山鎮三驛に於ける、鐵道貨物取扱状況を掲ぐれば、左の如くである。

釜山三驛發着貨物噸數種別二年比較表 (重量噸、以下各表同じ)

種別	昭和九年		昭和八年		増減(△)
	發着	通過(内地仕出)	發着	通過(内地仕出)	
合計	二五三、八七一	一一〇、六八一	一八九、六八三	九五、二三八	六四、一八二
地發	三〇、七三三	一〇、七三三	二八、〇〇〇	九、七三三	二、〇〇〇
通過(内地仕出)	二二三、〇三八	九九、八八八	一九〇、九八三	八五、五五五	二七、四八三
到着	四三、八七七	一〇、〇〇〇	二一、七五〇	一、二五〇	二二、五〇〇
通過(内地仕向)	三、五八六	三、五八六	三、五八六	三、五八六	△
地着	四〇、二九一	六、四一四	一八、一六四	一、七〇〇	二二、〇九〇
通過(内地仕向)	三、五八六	三、五八六	三、五八六	三、五八六	△
合計	八七、八七七	一四、〇〇〇	四〇、七〇〇	五、二〇〇	四二、六〇〇

備考 一、三驛とは釜山、草梁、釜山鎮の各驛を含みたるもので、以下各表同じ。  
 二、本表には關釜連絡船に依る地發着貨物及小荷物を含まず。  
 三、通過貨物は釜山驛に於ける省局鐵道連帶に依るもので、潭山連帶を含まず。

(イ) 鐵道地發着貨物

一、地發

釜山三驛地發貨物噸數品種別二年比較表

品名	昭和九年		昭和八年		増減(△)
	發着	通過(内地仕出)	發着	通過(内地仕出)	
米	一、一八九	三〇四	八八五	六、三三〇	五、四六五
小麥粉	三、六五四	九六五	二、六八九	五、四七七	二、四九九
魚類	一四、九五九	一四、七一五	三四四	三〇、一七三	一五、二九一
塩	八、七四九	六、五八四	二、一六五	九、〇一〇	四、〇四四
野菜及果實	二〇、五二三	一〇、三三八	一〇、八八四	一一、九七九	九、七五〇
煙草	一、八四九	二七四	一、五七五	一六、四六一	一七、二四五
石油	七、八九八	八、四六五	五六七	一一、六七〇	八、六八三
綿糸布	八、三八二	八、二三四	二四七	二五、八七一	一八、六八三
其他諸品	△	△	五六七	二五、八七一	二九、〇八八
計	八、三八二	八、二三四	二四七	二五、八七一	一八、六八三

二、地着

釜山三驛地着貨物噸數品種別二年比較表



品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)	品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)
米	二四、五〇三	一六、五三九	七、九六四	大豆	八、二一八	八、八七五	△
麥	四、五一八	二、八四一	一、六七七	砂糖	一、三二〇	一、三二〇	〇
粟	二、四〇五	一、五〇〇	一、九〇五	野菜及果實	四、七〇五	四、三九八	三〇七
煙草	一、五八三	一、一五〇	四三三	薪炭	五、一三三	六、四三三	△
黑鉛	一八、三八九	一、八八九	一六、五〇〇	繩及繩	五、〇二六	四、八二七	一九九
石炭	一、四七六	三、二五七	一、七八一	肥料	一、三三〇	一、二二六	一〇四
セメント	四、五一三	〇、〇五〇	四、四六三	活牛	一、五〇〇	九、一四一	△
金屬及同製品	一、四〇〇	一、七二〇	△	其他諸品	九七、八三五	五二、一三九	四五、七〇六
木材	八、六七五	五、五七〇	三、一〇五	計	四三、七三〇	三〇、八三三	一二、八九七

(口) 鐵道通過貨物

一、内地仕出

内地仕出釜山驛通過貨物噸數品種別二年比較表

品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)	品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)
麥	三九	二〇六	△	毛織物	一、九九	七九〇	一、一九九

品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)	品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)
菜子	四八四	四四〇	四四	和洋紙	一七二	一四九	二三
和洋酒	二五三	一〇七	一四六	陶磁器	九一五	七八八	一二七
野菜	四、四七	三、七八九	六八八	鐵製品	二、三七一	一、五三八	七七八
生果	六、三六六	八、〇五三	△	竹材	七五	一八七	△
鮮魚	六三三	五五〇	八三	木材	一、五二	一、〇〇	五二二
油類	九三	一〇一	△	苗木	一、〇〇	一、〇〇	〇
石油	六八三	二七二	四一一	其他諸品	五三、八〇八	四三、一一三	一〇、五九五
打綿	二五八	一〇三	一五五	合計	一、〇〇六	九三、二二八	一三、八三八
綿絲布	四、九四七	三、四一四	一、五三三				

二、内地仕向

内地仕向釜山驛通過貨物噸數品種別二年比較表

品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)	品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)
米	二一〇	五七	一五三	生絲	一、一三六	九三九	一九七
大豆	三三	二二	一一	柞蠶生絲	一、三三八	一、一三〇	二〇八
小豆	四七九	一一三	三六六	木炭	七五三	二、一三四	△
生果及野菜	一三、六八八	一三、〇三	六五五	肥料	一七九	一四一	三八



牛	三六	三六一	△	一三五	其他諸品	六、九一八	七、五六九	△	六五二
鹽乾魚	三六	三六一	△	一三五	合計	三四、五六六	三五、二六五	△	六七九
皮	六〇五	一、七〇一	△	四七七					

次に手小荷物の發着個數を調査するに左表の如し。

釜山三驛發着手小荷物個數二年比較表

區別	發		着		過 (釜山驛)		計		
	昭和九年	昭和八年	増減(△)	昭和九年	昭和八年	増減(△)	昭和九年	昭和八年	
合計	三六一、七〇〇	三三六、六九三	三五、〇〇八	一、七八六、九二二	一、四三八、一三三	三四八、七九九	二、〇四八、六二二	一、六七四、八二五	三五三、七八七
發	三六一、七〇〇	三三六、六九三	三五、〇〇八	一、七八六、九二二	一、四三八、一三三	三四八、七九九	二、〇四八、六二二	一、六七四、八二五	三五三、七八七
到	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	三六一、七〇〇	三三六、六九三	三五、〇〇八	一、七八六、九二二	一、四三八、一三三	三四八、七九九	二、〇四八、六二二	一、六七四、八二五	三五三、七八七

關釜連絡船發着手小荷物個數二年比較表

區別	發		着		過 (釜山驛)		計		
	昭和九年	昭和八年	増減(△)	昭和九年	昭和八年	増減(△)	昭和九年	昭和八年	
合計	二二四、四三〇	二二五、四九三	一九、〇六三	二、一八八、二七九	一、八八八、六九九	三九九、五八〇	二、一八八、二七九	二、一三三、一五三	三五九、一二六
發	二二四、四三〇	二二五、四九三	一九、〇六三	二、一八八、二七九	一、八八八、六九九	三九九、五八〇	二、一八八、二七九	二、一三三、一五三	三五九、一二六
到	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	二二四、四三〇	二二五、四九三	一九、〇六三	二、一八八、二七九	一、八八八、六九九	三九九、五八〇	二、一八八、二七九	二、一三三、一五三	三五九、一二六

(三) 運賃

船貨運賃は依然爲替安、インフレ景氣に依る、荷物の旺盛に伴ひ、海運界の好調を齎らすと共に、船腹の拂底、船質の改善等に依る、備船料の昂騰と相俟て必然強化を誘ひ、鮮産出荷の大宗たる米穀運賃に於ても、昨年十二月に於ける鮮航會の、釜山阪神間百石六十三圓より、本年四月六十八圓と五圓高、次で六月の改定に依り七十二圓と四圓高を告る等、實に大正九年以來會て見ざる昂騰状態を示し、而かも十月冬場協定に於て同會の強氣は、更に引上を提議するに至りたるも、荷主側朝鮮穀物聯合會の猛烈なる反對に會し終に協定成立せず、本年中は六月協定運賃据置となり、同時に鮮内他港に比し、釜山港の位置、設備、配船の有利を理由に、當地穀物商組合の提唱する自由積問題も、本年其實行を見るに至らず、意見對立の儘持越された又最近常港を中心として、運賃安、諸費用の低廉に加ふるに航路の延長等に依つて、鮮米積取に割込み來れる優秀小型發動機船の激増は、大型船に相當打撃を與ふるに至り、各船會社共早くも其對策に日夜腐心の模様であるが、米穀を除く其他貨物の運賃は、米穀運賃の昂騰に追従せず、昨年來の建値を保ち格別變動を見ない。之は各船會社共米穀運賃に重きを置き、雜貨類運賃を餘り問題としないことに因るものである。

釜山阪神間米穀運賃變遷一覽表 (百石建)

改定年月	運賃	改定年月	運賃	改定年月	運賃	改定年月	運賃
大正八年一月	一三〇、〇〇 <sup>円</sup>	大正八年十月	一〇三、〇〇 <sup>円</sup>	大正九年十一月	七〇、〇〇 <sup>円</sup>	大正十年十月	六〇、〇〇 <sup>円</sup>
同 三月	九六、〇〇	同 九年二月	九〇、〇〇	同 十年一月	六五、〇〇	同 十二月	六五、〇〇



大正十一年一月	六〇、〇〇	大正十三年七月	六〇、〇〇	昭和五年十一月	四〇、〇〇	昭和八年十二月	※ 四、〇〇
同 七月	五五、〇〇	同 十月	五五、〇〇	同 六月五月	四七、〇〇	同 九年四月	※ 六、〇〇
同 十二月	六〇、〇〇	同 十四年十月	四八、〇〇	同 十一月	四三、〇〇	同 六月	※ 七、〇〇
同十二年一月	五五、〇〇	昭和四年七月	五三、〇〇	同 七年八月	四四、〇〇		
同 十月	七〇、〇〇	同 十月	五〇、〇〇	同 八年五月	四三、〇〇		

備考 一、右の運賃には本港の解船賃百石十圓を含む、  
 二、※印を附せるものは鮮航會の運賃である。但解船賃を含まず。  
 三、鮮航會の運賃は其内より五分を貨主に拂戻す。

釜山阪神間貨物運賃(米穀を除く)建値表

品名	單位	昭和九年十二月末現在		備考
		甲	乙	
雜貨	四十才又ハ 風袋込千五百斤	五、四〇	四、二〇	乙丙及特ニ掲ゲタルモノヲ除ク一切ニ對スル基準 主トシテ日用品等 運賃負擔ノ最少ノモノ
從價	同	三、〇〇	三、〇〇	
最低	同	三、八五	三、八五	
運賃	同	三、八五	三、八五	
取	同	三、八五	三、八五	
貨	同	三、八五	三、八五	
一	同	三、八五	三、八五	
每	同	三、八五	三、八五	
百	同	三、八五	三、八五	
圓	同	三、八五	三、八五	

備考 右は朝鮮郵船會社の建値であるが、其他船會社共時季の繁閑、貨物の多少、貨主との關係等に依り取扱上の手加減から、實際の標準は右の値より幾分下値を廻ることもある。

解船賃其他積卸費二年對照表

品名	單位	解船賃		船内人夫賃		接續費	
		昭和九年末	昭和八年末	昭和九年末	昭和八年末	昭和九年末	昭和八年末
穀物	百石	九、〇〇	九、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	一五、〇〇	一三、〇〇
雜貨	一噸	〇、八〇	〇、八〇	〇、一〇	〇、一〇	一、一〇	一、一〇
石炭	同	〇、七〇	〇、七〇	〇、一〇	〇、一〇	一、〇〇	一、〇〇
塩	同	〇、七〇	〇、七〇	〇、一五	〇、一五	一、〇〇	一、〇〇

備考 一、右の費用も取扱區々に亘るが爲大体の標準を掲げた。  
 二、右の解船賃は税關構内より解船へ及解船より本船離脱迄の費用又は其の逆の費用である。  
 三、税關構外積卸荷役に於ける解船賃は、其の距離に依り割増金を支拂ふ場合もあり、又解船積込費用を貨主の負擔とすることも  
 ある。

(四) 旅客

(A) 船舶旅客

本年中當港に於ける船舶旅客の乗降、發着國別並に來往者の國籍別等を、前年に比較すれば次の如くである。

船舶旅客二年比較表

(人)



種別	昭和九年		昭和八年		增減(△)
	上陸客	乘船客	上陸客	乘船客	
計	420,718	420,718	404,158	415,788	16,560
上陸客	420,718	420,718	404,158	415,788	16,560
乘船客	0	0	0	0	0

船舶旅客數發着國別二年比較表 (人)

發着國別	昭和九年		昭和八年		增減(△)
	上陸	乘船	上陸	乘船	
內地	428,338	428,338	404,133	423,105	24,202
中華民國	10	10	3	3	7
其他	1	1	2	1	-1
計	438,349	438,349	404,136	423,109	34,173

船舶旅客數國籍別二年比較表 (人)

國籍別	昭和九年		昭和八年		增減(△)
	上陸	乘船	上陸	乘船	
內地人	335,532	335,532	310,488	329,994	25,044
朝鮮人	89,880	89,880	81,265	133,638	43,758
滿洲人	1,340	1,340	333	1,331	1
中華民國人	371	371	317	535	164
露西亞人	253	253	277	242	-24
北米合衆國人	765	765	599	793	184
英吉利人	336	336	299	306	6
獨逸人	135	135	88	155	67
其他諸國人	308	308	207	281	73
計	438,349	438,349	404,136	423,109	34,173

船舶旅客數五年對照表 (人)

年次	昭和九年		昭和八年		昭和七年		昭和六年		昭和五年	
	上陸	乘船	上陸	乘船	上陸	乘船	上陸	乘船	上陸	乘船
計	420,718	420,718	404,158	415,788	393,379	401,788	355,400	336,447	388,000	388,000
內地	428,338	428,338	404,133	423,105	415,788	401,788	355,400	336,447	388,000	388,000
朝鮮	89,880	89,880	81,265	133,638	133,379	133,379	133,379	133,379	133,379	133,379
滿洲	1,340	1,340	333	1,331	1,331	1,331	1,331	1,331	1,331	1,331
中華民國	371	371	317	535	535	535	535	535	535	535
露西亞	253	253	277	242	242	242	242	242	242	242
北米合衆國	765	765	599	793	793	793	793	793	793	793
英吉利	336	336	299	306	306	306	306	306	306	306
獨逸	135	135	88	155	155	155	155	155	155	155
其他諸國	308	308	207	281	281	281	281	281	281	281

關釜連絡船乘降船客人員二年比較表 (人)



區別	釜山地發着		通過		計	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
乘船客	九四、五九〇	一一三、九四五	二八八、七三九	二五〇、四四三	三八三、三三九	三六三、一八八
降船客	八八、八三七	九三、五五一	二八九、五三八	二五三、八二三	三七八、三六五	三五七、三三三
計	一八三、四二七	二〇六、四六六	五七八、三二七	五〇四、〇六六	七六一、七〇四	七二〇、五二一
		増減(△)		増減(△)		増減(△)
		一八、〇二九		三八、四九六		二〇、一四二

(B) 鐵道旅客

尙本年中釜山、草梁、釜山鎮三驛の乗降客を、地發着と、通過に區別し、前年に比較表示すれば左の如くである。

釜山三驛乗降客種別二年比較表 (人)

種別	昭和九年		昭和八年		増減(△)
	地發着	地通過	地發着	地通過	
乗車客	四九、七八九	二八九、五二八	四〇三、五七三	二六三、八二三	五二、二一七
降車客	七四九、三二七	四三九、五四一	六七一、五九四	三六八、八二〇	三七、七三三
計	八四九、一三七	七二八、〇六九	一、〇七五、一六七	六三二、六九三	四一、四七四
合計	一、四七七、五九七	一、四〇六、一三八	一、一四七、七六二	一、〇〇一、五八六	四二九、八七六

第十一、税關收入

本年中釜山税關の收入税額は、本關及管内支署出張所を併せ、租税二百五十三萬餘圓、雜收入十四萬餘圓、合計二百六十七萬餘圓で、前年に比し租税二十八萬餘圓、雜收入二萬餘圓、合計に於て三十萬餘圓の激増を示した。之を表示すれば左の通りである。

收入税額種別二年比較表 (圓)

種別	昭和九年		昭和八年		増減(△)
	租入税	雜收入	租入税	雜收入	
輪入税	四五、一九六	一、一九六	三六、一五〇	一、〇九三	八九、一三三
噸入税	一、一九六	九、四八九	一、〇九三	二、六九八	一〇一、三九二
出港税	五四、七二二	三九八、三九〇	九六、八一六	三三三、三二九	四二、〇〇六
酒料税	二、九五四	四一八、一五	三六四、四八四	一	七六、一六一
清涼飲料料税	一四、八三七	二、五二一	一三、三〇三	二、四七九	一、五二〇
砂糖消費税	一四四、八五八	二、五二一	一四、七九七	二、五二一	一三〇、〇六八
雜收入	二、五二一	二、五二一	二、五二一	二、五二一	〇
合計	二、六七六、七四四	一〇一、六七一	二、六七六、七四四	一〇一、六七一	〇



第十 税關收入

備考 一、本表は曆年度に依つた實收額で印紙收入は含んで居ない、以下の表同じ。  
二、圓位以下は四捨五入してある、以下の表亦同じ。

次に右の收入税額を本關並に管内支署出張所別に區別すれば、本關に於て租税百八十一萬餘圓、雜收入十三萬餘圓、合計百九十四萬餘圓で、前年に比し租税二十三萬餘圓、雜收入一萬餘圓、合計二十四萬餘圓の激増を告げ、管内支署出張所に於ては租税七十一萬餘圓、雜收入一萬餘圓、合計七十二萬餘圓で、前年に比し租税五萬餘圓、雜收入四千餘圓、合計六萬餘圓の増加を示した。之が詳細を表示すれば左の如くである。

(一) 本 關

收入税額種別二年比較表 (圓)

種 別	昭 和 九 年	昭 和 八 年	増 減 (△)
租 入 税	四四一、二三八	三三三、七九六	一〇七、四八二
移 入 税	八七六、三三二	七四三、二六八	一三三、〇六四
噸 港 税	八、七六七	一〇、七五五	△ 一、九八八
出 港 税	五五、五二八	九六、九七一	△ 四一、四四三
酒 稅	三三三、五五三	〇〇、〇〇〇	三三三、五五三
清 涼 飲 料 稅	二、二二八	一、一一一	一、一一七
砂 糖 消 費 稅	二〇、八二八	一、〇〇〇	一九、八二八
計	一、三二五、一七六	一、一八五、八一七	一三九、三五九

雜 收 入 計

一九、一三六

二二、二八八

一六、一五五

收入租税(酒税、清涼飲料税及砂糖消費税ヲ除ク)額種別十年對照表 (圓)

年 次	輸 移 入 税	出 港 税	噸 稅	合 計
昭 和 九 年	一、三二五、一七六	五三、五二八	八、七六七	一、三八七、四三一
同 八 年	一、〇〇〇、一五〇	九六、九七一	一〇、七五五	一、〇九七、八七六
同 七 年	九八五、九九五	二二、一七九	八、八九三	一、〇一六、三六七
同 六 年	六七、七九七	九、一三三	九、一三三	七、八四三
同 五 年	九八、六〇九	三、四〇九	〇、〇〇〇	一〇、二一八
同 四 年	一、三三三、三三三	九、七八八	九、九三三	一、三四三、二五四
同 三 年	一、一〇〇、一〇〇	九、一一一	七、九九九	一、二〇七、二〇〇
同 二 年	一、〇〇〇、〇〇〇	九、六四七	〇、〇〇〇	一、〇〇九、六四七
同 元 年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、二二二	九、六四七	一、〇一〇、八七六
大 正 十 四 年	一、三二六、九五〇	一八八、五三三	三、七八六	一、五一八、三六九

(二) 管内支署及出張所

收入税額二年對照表 (圓)

第十 税關收入







輸出貿易に於ては、滿洲國の開発に伴ひ、酒造用として全南雄町米の進出驚異的增加を告げ、生粗布又活況を呈し、其他諸品一齊に増加を告げ、輸入貿易にあつては、米價の昂騰による代用食糧品たる、滿洲粟未曾有の盛況と、重油、支那麻布等の入増、棉子、石炭、原木等の減退を見た。移出貿易の大宗米は内地凶作により移出旺盛を極め、米價の昂騰と相待つて昨年比し三百八十五萬餘圓の出増を見、棉子油、肥料等又活氣を呈したが、海藻は石花菜の入注不振、眞海難、袋海難の作柄不良により減退を告げ、移入貿易にあつては、鮮農施肥思想の普及、鮮内硫安の供給不足により、肥料類の入増目覺しく、燈油、米、小麥粉、木材、石炭等又躍進を示し、減退の著しいものは、綿織物、絹織物、裸麥、毛織物、麥酒等であつて、本年は昨年比し輸移出入共一段活況を呈した。

貨物貿易額二年比較表 (圓)

種別	昭和九年		昭和八年		増減(△)
	輸出	移入	輸出	移入	
輸移計	三三,三〇,九三八	三三,五七,四八八	一八,三七,七九〇	二〇,五五,七〇	三,八七八,五八八
移出計	三三,三〇,九三八	三三,五七,四八八	一八,三七,七九〇	二〇,五五,七〇	三,八七八,五八八
移入計	三三,五七,四八八	三三,三〇,九三八	二〇,五五,七〇	一八,三七,七九〇	三,八七八,五八八
合計	六六,八八,四七六	六六,八八,四七六	三九,三五,四九〇	三九,三五,四九〇	二七,五二九,九八六
輸出超過計	三三,三〇,九三八	三三,五七,四八八	一八,三七,七九〇	二〇,五五,七〇	三,八七八,五八八
輸入超過計	三三,五七,四八八	三三,三〇,九三八	二〇,五五,七〇	一八,三七,七九〇	三,八七八,五八八

貨物貿易額十年對照表 (圓)

年次	輸移出	輸移入	合計	出超又ハ入超(△)
昭和九年	三三,五三,四八八	三三,三〇,九三八	六六,八四,四七六	三,二二三,五〇〇
同八年	一八,四六三,七四七	二〇,四六三,〇四八	三八,九二六,七九五	八,四五〇,〇四八
同七年	一六,五五八,一九七	二二,九〇六,八七八	三九,四六五,〇八五	八,九〇九,五一八
同六年	一五,四七七,五五八	二五,〇四三,三三五	四〇,五二〇,九一三	七,八七二,七八二
同五年	一七,四五三,八五五	二九,二二二,三九二	四六,六七六,二四七	五,九二二,五四一
同四年	二二,八七三,〇七七	三三,〇九二,二九〇	五五,九六五,三六七	八,〇九二,二一三
同三年	二二,六九三,四七七	三三,七三九,五三三	五六,四三三,〇一〇	一〇,〇四六,〇五三
同二年	二二,一三三,七七三	三二,七三九,五三三	五四,八七三,三〇六	一二,七四〇,〇三三
同元年	二二,七六九,四九五	三二,二八八,九四七	五五,〇五八,四〇二	一〇,二八八,四五五
大正十四年	二二,六七六,五九三	三三,五七二,五九八	五六,二四九,一九一	九,五七二,五九八

輸出主要品二年比較表

品名	單位	數量		増減(△)	價額		増減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
米	石	八,三四九	一,六六〇	六,六八九	三三三,九三四	三九,四一六	一九四,五八八



品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
魚類	斤	四三、二九一	三八、四七六	六、八一五	四、一七八	三、九四八	二三〇
乾海苔	同	六、二六九	三、九五五	二、三二四	一〇、一七七	五、四三五	四、七四三
生シーチング	方碼	一六、二四〇	六九、六〇〇	九二、八〇〇	二八、〇八三	一三、〇四〇	一六、〇四三
其他ノ諸品	—	—	—	—	三五、二〇八	二九、七二八	五、四九〇
計	—	—	—	—	一一、五七〇	九〇、五五七	三、一〇三

輸入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
米及	百斤	—	三、一四五	△	—	一五、二二八	△
粟	同	七三、〇三五	五、四三一	△	三〇五、九三三	二六、二〇三	二七九、七三九
胡麻	同	二、二二二	一、九二八	△	二一、九五三	一六、九二九	五、〇二四
棉子	同	三、一六六	五、九七六	△	九、五八二	一六六、八二六	一五七、二四四
天日鹽	同	四一、六〇五	四三、五二五	△	四〇、三六一	三八、九〇三	一、四九九
原油及重油	ガロン	四八五、九一八	三二七、一四四	△	七五、一一一	四九、一四一	二五、九七〇
支那麻布	方碼	八四、九三九	—	△	三一、四四八	—	三一、四四八
石炭	噸	三、三三〇	六、三六三	△	四五、八〇三	七四、六二四	二八、八二一
原木	立方尺	一、四六七	一、三三五	△	一、一六六	四六、三〇〇	四五、一五四

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
肥料	百斤	五、四九七	八、〇七八	△	二〇、五六九	三二、七八四	△
其他ノ諸品	—	—	—	—	八三、四三三	四七、八〇七	三五、六二六
計	—	—	—	—	二〇、五六九	八〇、五九一	二〇、一三〇
米及	石	六八四、九三七	六一〇、五二八	△	一六、四三五、七六六	一三、五八一、五五七	三、八五四、二〇九
魚類	斤	一六八、〇〇〇	一八四、三四七	△	三六、一五八	二九、二四七	六、九一一
乾海苔	同	七〇、一四五	七九、二六〇	△	九六、八四五	九五、四九〇	一、三五五
棉子油	同	二、八〇〇、七三三	二、一〇〇、五七一	△	五二五、九一八	四〇七、九二六	一一八、〇〇二
綠綿	百斤	六八、八六一	八八、三二七	△	三、七三七、六二五	三、九一八、〇三〇	△
海藻	斤	八六三、五二三	一、三二七、八五五	△	三一七、一一六	五四九、七五九	△
肥料	百斤	九三、四九二	六五、一五三	△	三九九、〇〇八	三三三、三一九	六五、六八九
其他ノ諸品	—	—	—	—	七三〇、四九三	四八六、八七三	二四三、六二〇
計	—	—	—	—	三、三〇六、六三八	一、八三三、一〇〇	一、四七三、五三八

移入主要品二年比較表



品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
米及裸麥	百斤	三八,三三三	二八,四八八	△	三三,一三四	三〇,〇九五	△
大麥及裸麥	同	二四八	三六,四八三	△	一,一五五	一六四,四二六	△
小麥粉	同	三〇,四七九	二,三三三	△	二七三,九九三	二〇〇,一五一	△
砂糖	同	一,〇七六	九八,〇八三	△	一三三,七三九	一六六,四三二	△
清酒	升	二四,六六七	一七,一一三	△	三四,六七七	一六,三六四	△
麥酒	利	一六八,一六三	三九三,一三三	△	五三,九二七	九八,五二五	△
揮發油	ガロン	四四八,六〇〇	三五九,八〇五	△	二〇,七五三	一八三,五六三	△
燈油	同	一〇,五五四	一四,四六〇	△	六〇九,〇三五	八〇,九四三	△
輕油	同	一八二,三六五	三三六,二七〇	△	七,六三九	一〇,〇七七	△
安全燐寸(小箱入)	百打	二六,五五〇	三四,五一四	△	九六,六三六	二九,七一九	△
綿織	斤	三八五,一五〇	三二七,九五〇	△	二四九,九三三	二二,四三二	△
生金巾及生細布	方碼	二,五六四	三,八八八	△	四六八,四三三	六五九,四七七	△
晒金巾及晒細布	同	一,五五三	一,九二九	△	二八〇,一一一	三三三,五六六	△
晒金巾及晒細布	同	一,〇六二	一,四七四	△	五二二,三五六	四〇七,七三三	△
太綫	同	二二五,七二〇	四四二,七九二	△	七〇,〇二四	一三三,三〇九	△
綿織	同	三,一四五	三,九三八	△	四八五,一三八	五九九,一八一	△
其他	同						

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
計	方碼	八,五三三	一,一七五	△	一,一七五	四九九,八三三	△
毛織物	同	一〇四,七三〇	一九二,三六五	△	八七,六三五	一七九,五一六	△
絹織物	同	一,三五五	三,〇七三	△	七三,一七七	六九九,〇七	△
肌衣	斤	七三七,〇〇四	七三三,二一〇	△	四,八四九	一三一,四四三	△
洋紙	噸	二六,三九四	三〇,八四八	△	五,五四六	二二,七二七	△
石炭	噸	一三八,六二三	一一三,七四三	△	二四,八八〇	一六四,六二七	△
セメント	百斤						
陶磁器及其他ノ粘土製品	斤	九九七,六九一	一,三五七,九四〇	△	四〇〇,二四九	一〇四,二六五	△
鐵條及竿	斤	九三五,二五五	九一六,四二七	△	一八,八三六	一〇七,七〇一	△
電鍍板	同						
機械類	同						
木材	同						
肥料	百斤	三八〇,七五三	三〇五,〇六六	△	一七五,六五七	六二五,七七七	△
其他ノ諸品	同						
計	同						

船舶

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表



船種	昭和九年		昭和八年		增減(△)	昭和九年		昭和八年		增減(△)
	隻	噸	隻	噸		隻	噸	隻	噸	
汽船	入港	八五九	八八八	七一九、三五三	△	七一九、三五三	七四七、九九九	二八、六三三	△	
	出港	一六九	一三九	六、九三六	△	六、九三六	五、四二三	一、五一三	△	
帆船	入港	一〇一	一〇八	七三六、二八八	△	七三六、二八八	七三三、四三三	三、八五五	△	
	出港	一七二	一四三	七三三、二二五	△	七三三、二二五	七四三、六五四	一〇、四一九	△	
計	入港	九六〇	九九六	一、四七二、六四一	△	一、四七二、六四一	一、四八〇、八二六	八、一八五	△	
計	出港	一、〇四四	一、〇八六	一、四六六、五七八	△	一、四六六、五七八	一、四八〇、八二六	一三、二四八	△	

入港貿易船舶隻數及噸數十年對照表

年次	汽船		帆船		計	
	隻	噸	隻	噸		
昭和九年	八五九	七一九、三五三	一〇一	七三六、二八八	九六〇	一、四七二、六四一
昭和八年	八八八	七四七、九九九	一〇八	七三三、四三三	九九六	一、四八〇、八二六
同元二年	八二二	六九二、四三三	八四	七三三、二二五	九〇六	一、四二五、六五八
同元三年	八七〇	七〇〇、六四八	九二	七三三、二二五	九六二	一、四三三、八七三
同元四年	九〇〇	七二〇、一七二	九七	七三三、二二五	九九七	一、四五三、三九七
同元五年	九四九	七六〇、〇〇〇	一〇二	七三三、二二五	一、〇五一	一、四九三、二二五
同元六年	九八〇	七九〇、〇〇〇	一〇七	七三三、二二五	一、〇八七	一、五二三、二二五
同元七年	一、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇	一一〇	七三三、二二五	一一一〇	一、五三三、二二五
同元八年	一、〇二〇	八二〇、〇〇〇	一一二	七三三、二二五	一一三二	一、五四三、二二五
同元九年	一、〇四〇	八四〇、〇〇〇	一一四	七三三、二二五	一一五四	一、五五三、二二五
昭和三年	八四七	七二五、二四八	九二	七三三、二二五	九三九	一、四五八、四七三
昭和二年	八二二	六九二、四三三	八四	七三三、二二五	九〇六	一、四二五、六五八
昭和元年	六七〇	五六一、五九一	六二	七三三、二二五	七三二	一、二六四、八一六
大正十四年	四〇八	三三三、〇〇〇	三三	七三三、二二五	四四一	一、〇六六、二二五

貨物

貿易貨物噸數二年比較表

種別	昭和九年		昭和八年		增減(△)
	噸	噸	噸	噸	
輸出貨物	二、四一八	一、五六一	二、五三四	一、五六一	△
輸入貨物	一、八〇五	七二〇、〇〇〇	一、八〇五	七二〇、〇〇〇	△
移出貨物	二、八二五	一、八〇五	二、八二五	一、八〇五	△
移入貨物	一一、五八二	九、四〇六	一一、五八二	九、四〇六	△
運送及積戻貨物	八二五	二、〇一七	八二五	二、〇一七	△
計	五、〇七三	三、九四九	五、〇七三	三、九四九	△

輸移出入貨物噸數十年對照表 (噸)



年次	輸出入移出	輸移入	合計
昭和九年	三〇、六六九	一五〇、三八七	一八〇、〇五六
同 八年	一八三、七八一	一四、六五三	一九八、四三四
同 七年	一八八、〇〇三	九五、一三八	二八三、一四一
同 六年	二二、四四一	一四六、六〇三	三五六、〇四四
同 五年	一五四、二五八	三三九、三九三	四八三、六五〇
同 四年	二三〇、三九三	二一三、九八五	四四四、三七八
同 三年	二二六、一五一	一八三、五九一	三九九、七四二
同 二年	二二四、二〇〇	一六五、一八三	三九九、四三三
同 元年	二四一、六一八	一七五、七九九	四一七、四一七
大正十四年	一九六、二二三	八九、五〇八	二八五、七三一

### 大 邱 貿 易

本年中の對外國貿易額は、輸出八萬餘圓、輸入三十七萬餘圓、合計四十五萬餘圓で、前年に比し輸出四萬餘圓、輸入二十九萬餘圓、合計三十三萬餘圓の激増を告げ、又對内地貿易額は、移出四十四萬餘圓、移入三百三十九萬餘圓、合計三百八十三萬餘圓で、前年に比し移出二十五萬餘圓、移入三十八萬餘圓、合計六十三萬餘圓の増加を見た。  
輸出貿易は朝鮮紙の滿洲國輸出の躍進と果實及核子の減退、輸入貿易にあつては、葉煙草その大半を占め粟、胡麻子其他一

齊に増加し、移出貿易は、その九割を占むる鹿子絞加工品の出増目覺しく、移入貿易にあつては絹織物、綿織物等の増進と、麥酒、砂糖等の減退を見たが、輸移出入共昨年比し一層躍進を告げた。

貨物貿易額二年比較表 (圓)

種別	昭和九年	昭和八年	増減 (△)
輸 出	八、二八六	三三、三〇八	四五、九七八
移 出	四三八、三三八	一八三、二七三	二五五、〇六五
移 入	五一九、六三四	二二八、五六一	三〇、〇〇三
輸 入	三七、八三四	八〇、九三五	二九〇、八九九
移 入	三、三九二、五九七	三、〇一三、一〇四	三八〇、四九三
移 入	三、七七四、三三三	三、〇七〇、〇一九	六〇七、三三三
移 入	四、八四、〇〇五	三、三三、〇一〇	九七三、〇〇五
移 入	三、二四四、七七七	二、八七四、四四八	三七〇、三三九
合計			
輸 入			
移 入			
輸 出			
移 出			
合計			
出超又ハ入超 (△)			

貨物貿易額十年對照表 (圓)

年次	輸 移 出	輸 移 入	合 計	出超又ハ入超 (△)
昭和九年	五一九、六三四	三、七六四、四三三	四、二八四、〇四五	△ 三、三四、七七七



品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
昭和八年		三二八、五八一		三、〇九五、〇三九		三、〇九五、〇三九	
同七年		一〇六、九六八		二、四七〇、〇八三		二、四七〇、〇八三	
同六年		二九、五四三		二、〇四五、五四八		二、〇四五、五四八	
同五年		三一、五五八		二、九〇三、四九八		二、九〇三、四九八	
同四年		七五、六九九		三、八五七、四四三		三、八五七、四四三	
同三年		九五、四五一		四、五六九、五一九		四、五六九、五一九	
同二年		一〇六、六三八		五、三六三、七三七		五、三六三、七三七	
同元年		一〇〇、五二七		五、一九七、六五一		五、一九七、六五一	
大正十四年		一八六、四二七		五、四九一、七四九		五、四九一、七四九	

輸出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
米	石	一、五四七		一、五四七		三九、七〇〇	
果實及核子	斤	一三、四八四		四三、四四四		一、五二九	
朝鮮紙	同	三九、三二六		三〇、一四〇		一、六六六	
其他ノ諸品	同					二、四六三	
計						八、一八六	

輸入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
粟	百斤	一三、八三四		六、四五六		六、四五六	
胡麻子	同	六、七六六		三、三三九		三、三三九	
葡萄酒	利	四、五三四		三、三三三		一、四四六	
蕃椒	斤	二八、九七七		二八、九七七		四、二五五	
葉煙草	同	六七五、七七〇		六七五、七七〇		一〇一、七二二	
毛織物	方碼	八、七五〇		五、七九五		八、八二一	
金屬及同製品	同					一〇五	
豆糟	百斤	一一〇、一		二、八九七		二、八九八	
其他ノ諸品	同					八、八九九	
小包郵便物	同					二、二二七	
再輸入品	同					二、九六一	
計						五七、一八四	

移出主要品二年比較表



品名	單位	數		増減(△)	價		増減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
麻織物	方碼	1,850	1,366	484	676	567	109
其他ノ布帛及同製品					398,334	149,488	248,846
衣類及同附屬品					39,176	33,187	5,989
其他ノ諸品					152	11	141
計					438,350	183,173	255,177

移入主要品二年比較表

品名	單位	數		増減(△)	價		増減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
砂糖	斤	500,101	591,013	△ 91,012	557,760	707,681	△ 149,921
清酒	升	15,953	11,856	4,097	16,533	11,751	4,782
麥酒	方碼	34,329	83,870	△ 49,541	10,975	28,326	△ 17,351
生シ一チング及酒		733,610	558,580	194,030	138,128	93,221	44,907
生シ一チング及酒		1,118,045	882,624	235,421	101,677	155,234	△ 53,557
晒金巾及晒細布		235,676	245,922	△ 10,246	31,817	30,799	1,018
白木綿		423,326	552,300	△ 128,974	82,338	101,583	△ 19,245
總計							

品名	單位	數		増減(△)	價		増減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
太綾布	方碼	823,975	777,810	46,165	348,125	224,273	123,852
綿子		193,971	281,507	△ 87,536	60,636	80,509	△ 19,873
其他		3,470,149	3,307,559	162,590	611,710	560,616	51,094
計		6,977,733	6,566,926	410,807	1,366,471	1,385,412	△ 18,941
羅紗及セルヂス		117,226	79,367	37,859	156,784	105,569	51,215
モスリン		131,889	115,826	16,063	70,890	63,996	6,894
其他		62,390	30,557	31,833	81,748	44,145	37,603
計		291,505	225,750	65,755	319,422	213,710	105,712
羽重		281,124	301,491	△ 20,367	359,985	370,010	△ 10,025
縮緬		180,685	104,045	76,640	193,530	139,199	54,331
富士絹		254,581	178,981	75,600	228,176	111,769	116,407
銘仙		28,757	36,405	△ 7,648	33,343	37,839	△ 4,496
其他ノ純絹布		23,863	12,299	11,564	145,539	111,067	34,472
及純絹交織布		1,266,233	1,169,233	97,000	368,246	323,560	44,686
人造絹布		256,543	110,377	146,166	111,841	53,383	58,458
純絹交織布		40,724	16,373	24,351	16,179	12,347	3,832
其他ノ純絹布		2,531,469	2,068,133	463,336	1,443,111	1,020,131	422,980
計		4,807,324	4,286,311	521,013	1,611,767	1,211,111	400,656
其他ノ諸品					37,749	54,909	△ 17,160
小包郵便物					3,333	7,333	△ 4,000



貨物

貿易貨物噸數二年比較表 (噸)

種別	昭和九年		昭和八年		増減 (△)
	輸出	輸入	輸出	輸入	
輸出貨物	七五七	三〇八	七四八	三〇八	△
輸入貨物	二、七八五	七四八	三六二	七四八	△
移出貨物	四六七	三六二	三六二	三六二	△
移入貨物	三、六九八	四、一〇八	四、一〇八	四、一〇八	△
積戻貨物	一〇	三	三	三	△
運送貨物	七、七三五	五、五九五	五、五九五	五、五九五	△
計	一、二三四	六、四八五	一、二三四	六、四八五	△

輸移出入貨物噸數十年對照表 (噸)

年次	輸出	輸入	合計
同八年	七五七	四、八五六	五、五六三
同七年	三〇七	四、七九三	五、一〇〇
同六年	二五一	四、四九一	四、七〇二
同五年	二三五	七、二七八	七、五〇三
同四年	三五八	一、四九三	一、八五一
同三年	三三一	一、三九五	一、七二六
同二年	四九三	二、五〇九	三、〇〇二
同元年	六二四	一、八六七	二、四九一
大正十四年	五、五三八	一七、二六七	二二、七九五

馬山貿易

當港本年の對外國貿易額は輸出四萬餘圓、輸入十三萬餘圓、合計十七萬餘圓で、前年に比し輸出二萬餘圓、輸入十三萬餘圓合計十五萬餘圓の激増を告げ又對内地貿易額は移出八百四十一萬餘圓、移入三百四十一萬餘圓、合計一千一百八十二萬餘圓で前年に比し移出二百七十九萬餘圓、移入六十七萬餘圓、合計三百四十六萬餘圓で之又増加を見た。

輸出貿易は煮乾鱈の滿洲國出荷増により、輸入貿易に於ては中華民國よりの天日塩により激増を示し、移出貿易は鮮米並に繰綿の大躍進により、牛皮、大豆等多數諸品の減退を補つて尙増加を告げ、移入貿易は大なる變化を見せず、結局輸移出入共に昨年比し貿易額の増大を録した。



貨物貿易額二年比較表 (四)

種別	昭和九年		昭和八年		増減(△)
	輸移入	輸移出	輸移入	輸移出	
輸移入計	八、四五一、六一五	八、四一四、六一五	三、五四四、二四〇	二、七三七、七四八	四、九〇七、三七一
輸移出計	八、四一四、六一五	八、四一四、六一五	二、七三七、七四八	二、七三七、七四八	五、六八〇、九一七
合計	一、九九五、八五五	一、九九五、八五五	八、三七四、四六一	八、三七四、四六一	〇
輸移出超過	一、九九五、八五五	一、九九五、八五五	二、八九六、六九二	二、八九六、六九二	〇

貨物貿易額十年對照表 (四)

年次	輸移入	輸移出	合計	出超又ハ入超(△)
昭和九年	三、五四四、二四〇	三、五四四、二四〇	七、〇八八、四八〇	〇
昭和八年	二、七三八、八八四	二、七三八、八八四	五、五七〇、七六八	〇
昭和七年	〇、四四二、二二二	〇、四四二、二二二	八、八五五、九〇四	〇
昭和六年	二、五四二、六〇六	二、五四二、六〇六	九、三九九、六五八	〇
昭和五年	三、三五四、八四九	三、三五四、八四九	七、〇九九、一八〇	〇
昭和四年	四、八九八、一三一	四、八九八、一三一	一一、一〇一、四八九	〇
昭和三年	五、八五九、七五五	五、八五九、七五五	一、六八一、六六一	〇
昭和二年	三、三二八、一五七	三、三二八、一五七	八、七八五、一七六	〇
昭和元年	三、〇四八、九五〇	三、〇四八、九五〇	七、七九四、〇〇〇	〇
大正十四年	三、一七三、二二六	三、一七三、二二六	九、一四九、九一九	〇

輸出主要品二年比較表

品名	單位	數量		價		額	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
乾魚	斤	七、七三九	七、七三九	一、二五〇、〇〇〇	一、〇七五、五〇〇	一、二五〇、〇〇〇	一、〇七五、五〇〇
乾海苔	同	—	—	—	—	—	—
清酒	升	—	—	—	—	—	—
絹織物	方碼	—	—	—	—	—	—
其他ノ諸品	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—



輸入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
高粱	百斤	九八二		九八二		二、六四六	
天日鹽	同	101,364		101,364		八五、九六六	
其他諸品	同					四五、二九八	
小包郵便物	同					一四五	
計						1,154	

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
玄米	石	145,895	101,211	44,684	三、三三八、一五七	三、117,288	1,210,869
精米	同	152,005	115,823	36,182	三、三六、四九九	三、七六、四三三	1,030,077
碎米	同	139	七五	六四	一、八六八	10,499	八、六一
其他朝鮮米	同	155	三三六	一八一	一、七七八	180	1,131
大豆	同	五三	一、八六七	一、八二四	七三九	二五、九九六	二、四九七

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
棉子	百斤	五、六六〇	九、六一七	△	16,700	五〇、四七五	△
牛皮	斤	二七、180	155,011	△	1,480	五七,311	△
繅絲	百斤	19,888	15,545	4,343	1,235,151	七〇,078	4,077
布帛及同製品	同				1,545	11,124	1,146
金礦	百斤	七四、三三〇	三九、七二九	34,601	19,557	112,980	11,117
米糠肥料	同	二七、〇四三	四、二六五	22,778	19,557	二九,803	△
其他諸品	同				1,218,187	八七,255	三三,933
計					8,433,851	80,710	2,775,033

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
米及	百斤	五、155	六一	△	29,886	七九	29,177
小麥粉	斤	1,632,526	1,231,949	400,577	155,428	118,230	36,198
砂糖	同	九五五,五四六	八六三,四四一	九一,105	110,011	107,229	2,782
生糖	同	五五三,二七六	四、四五七,八一〇	△	15,432	21,018	七六,五六九
安全燐寸(小箱入)	百打	三、三〇七,〇六五	二、173,900	1,133,165	六〇,七四四	五九,九九九	20,845
		一四、八五四	一四、八七六	三三	五〇,八七五	五六,九五一	六,〇七六



品名	昭和九年	昭和八年	増減(△)
綿	一、三三二	七二	六〇五
綿 フランネル	五、一三〇	七、一五九	二、〇二九
生 細 布	一、四七三	三、〇〇〇	一、五二七
晒 金 巾 及 晒 細 布	一、八四、九六一	一、六五、二八三	一九、七〇九
太 絨 子 布	九、八〇六	一、五九、〇一九	一、五〇、一九三
綿 織 子	三、一三七	五、四、三九六	二、三二〇
羅 紗 及 セル チ ス	三、六三六	一、九、五五一	一、七四一
毛 モ ス リ ン	四、八、九二二	六、一、九八二	一、三〇三
羽 重	四、六、三五五	一、六、七七一	三、〇〇八
縮 緬	五、四、〇三八	二、三、五六六	三、〇七二
銘 緬	一、三、二二二	一、五、九六一	二、六三九
人 造 絹 布	二、七、四三三	一、九、二、三五八	八、二〇五
純 絹 人 造 絹 交 織 布	二、五、二四二	三、八、一七〇	一、二八八
肌 衣	二〇、一三一	一、六、九九三	一、八、九〇六
石 炭	七〇、五五三	三、〇、〇六六	六、七、四八七
セ メ ン ト	一、一、一三二	一、一、一三二	〇
陶 磁 器 及 其 他 ノ 粘 土 製 品	一、一、一三二	一、一、一三二	〇
硝 子 及 同 製 品	一、一、一三二	一、一、一三二	〇
電 鍍 板	一、一、一三二	一、一、一三二	〇

船 舶

出入港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船 種	隻 數		噸 數	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
原 木	一七〇、〇八八	九三、二五〇	九、一、六三九	一、一、五〇六
石 灰 窒 素 肥 料	二〇、五五八	—	一〇、八、五八〇	—
硫 安 肥 料	二、八八九	一、四三五	一、四、七六九	八、九八四
過 燐 酸 肥 料	七、一六八	四、一五七	一、六、九六九	九、〇三九
其 他 ノ 肥 料	二、九三九	一、八、四七九	一、六、二七七	八、六、九三三
其 他 ノ 諸 品	—	—	—	—
小 包 郵 便 物 (織物ヲ含マズ)	—	—	—	—
計	—	—	一、〇、一〇四、三	一、〇、一〇四、三

  

入 港	隻 數		噸 數	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
汽 船	三三七	三二二	一、四、七、一六五	一、二、六、八八四
帆 船	六〇	四九九	〇、一、五、七七一	一、五、七、七七一
汽 船	八八六	七二七	一、四、七、四六一	一、四、七、四六一
計	一、〇、六三三	一、〇、五五〇	三、〇、〇、〇〇〇	三、〇、〇、〇〇〇



出港(帆)計	船	
	計	噸
計	五九九	四七五
	七九	七
	一四、四三三	一、五九九
	一、三三六	一、三三六

入港貿易船舶隻數及噸數五年對照表

年次	汽		船		帆		計	
	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
昭和九年	三三三	一四七、一六五	六〇一	一七、四一〇	八五八	一六四、五七五	一、三三六	一、五九九
同八年	二二二	一四七、一六五	四九九	一五、七九四	七二二	一三三、四七八	一、三三六	一、三三六
同七年	二二二	一四七、一六五	四九九	一五、七九四	七二二	一三三、四七八	一、三三六	一、三三六
同六年	二九一	一七七、九四三	三七〇	一三、六三三	六六一	一八一、五九九	一、三三六	一、三三六
同五年	三三三	一五二、一七四	二九五	九、七五三	五三八	一八一、五九九	一、三三六	一、三三六

麗水

本年對內地貿易額は移出一千一百七十萬餘圓、移入四百二萬餘圓、合計一千五百七十二萬餘圓で、前年に比し移出二百六十六萬餘圓、移入一百七十三萬餘圓、合計四百三十九萬餘圓の激増である。移出貿易にありては、米、乾海苔、繰綿等増加を示し、生絲、鮮貝等に於て僅少の減退を見、移入貿易は、セメント、機械類、木材等躍増し、昨年に比し一段活況を呈した。尙當港修築、慶全線開通、米穀倉庫、鐘紡工場の開設等により、當港の前途洋々たるものがある。

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		増減(△)		價額		増減(△)	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
米及	石	一七九、五七九	一四九、六八〇	二九、八九九	一、七〇七、五七三	三、一〇一、三〇七	一〇、六八八、三六六	一、二九七、五七九	一、二九七、五七九
魚類	斤	三、四六四、〇八八	一、三三九、八二二	二、一二五、二六六	四七、七〇八、八八四	三、四一〇、五〇五	一、二九七、五七九	一、二九七、五七九	一、二九七、五七九
海苔	同	一、四八八、一三五	一、一三三、七四四	三五四、三八四	二、九〇九、七九八	二、四九七、八五三	一、四九七、八五三	一、四九七、八五三	一、四九七、八五三
繰綿	百斤	八、九九四	四、四八四	四、五一〇	五三三、三九二	二、二八、四六四	三〇四、九三五	三〇四、九三五	三〇四、九三五
生絲	斤	三、四三三、三三三	二、六七七、三三五	一、七五六、九九八	一、八八三、七九四	一、九三三、二〇二	〇、五〇五、〇〇〇	〇、五〇五、〇〇〇	〇、五〇五、〇〇〇
石炭	噸	一四、八三〇	一五、二三四	四四四	一、三三〇、三八八	一、三〇〇、五九二	二九、七九六	二九、七九六	二九、七九六
海藻	斤	三、六七、二八九	三三、一一、八六六	三、六四、六二七	一、六五五、五七五	六五、一六二	七九七、九四六	七九七、九四六	七九七、九四六
其他ノ諸品	計	—	—	—	〇、四〇七、一〇一	九、四〇七、一〇一	九、四〇七、一〇一	九、四〇七、一〇一	九、四〇七、一〇一

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		増減(△)		價額		増減(△)	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
小麥粉	斤	四三三、八三三	三〇七、〇九二	一二六、七四一	一、四一三、五二二	二、九七五、四一四	一、一八三、八三二	一、一八三、八三二	一、一八三、八三二
揮發油	ガロン	五三、九〇〇	五七、〇〇〇	三、一〇〇	一、四一三、五二二	三、八九五	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇
綿糸	斤	〇、七三、七〇〇	四九、七四五	二七、九二五	一、四一三、五二二	四、九九五	一、四一三、五二二	一、四一三、五二二	一、四一三、五二二



船種	隻數		登簿噸數	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
汽船	50	57	33,977	33,388
帆船	11	11	10,111	10,111
其他	1	1	1,111	1,111
計	62	69	45,199	44,610

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		登簿噸數	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
汽船	50	57	33,977	33,388
帆船	11	11	10,111	10,111
其他	1	1	1,111	1,111
計	62	69	45,199	44,610

鎮海

貿易

貨物貿易額二年比較表 (圓)

種別	昭和九年		昭和八年		增減 (△)
	入港	出港	入港	出港	
入港汽船	49,100	49,100	49,100	49,100	△
入港帆船	1,000	1,000	1,000	1,000	△
出港汽船	49,100	49,100	49,100	49,100	△
出港帆船	1,000	1,000	1,000	1,000	△
計	50,100	50,100	50,100	50,100	△



合計  
輸移入超過

四八、〇七七  
三六八、四六一

二四、〇八一  
二一九、二〇三

一七、〇六六  
一四九、三五八

貨物貿易額十年對照表 (圓)

年次	輸移出	輸移入	合計	出超又ハ入超(△)	
					昭九年
昭和九年	二九、八〇八	三九八、三六九	四二八、〇七七	△ 五八、四六一	
同八年	一五、八八九	三三三、〇九三	三四八、九八二	△ 三九、〇九三	
同七年	四七、八六六	二六四、一九三	三一二、〇五九	△ 二六、三二七	
同六年	一四、七五七	三三八、〇〇〇	三五一、二四七	△ 三三、二九〇	
同五年	三三、七〇一	二六三、八三三	二九七、五三四	△ 三三、一三〇	
同四年	八一、三九八	三一四、〇〇〇	三二五、四〇八	△ 二七、六七三	
同三年	八四、六五九	六六一、〇〇〇	一四五、六五九	△ 五七、六八一	
同二年	四六、一九四	二五四、九九九	一〇八、一六三	△ 三〇、七七五	
同元年	六一、〇〇〇	七一九、七三三	七八〇、七三三	△ 六五、七七五	
大正十四年	五八、九三九	二二七、四三〇	二七六、三六九	△ 一五八、四九一	

輸移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		増減(△)	價		額	増減(△)
		昭九年	昭八年		昭九年	昭八年		
精米	石	一、一六六	九〇九	△ 二五七	六、八八五	一、一七二	△ 一、九二五	
綿織物	方碼	二、七三六	三、〇〇六	△ 二七〇	一、〇三三	〇、八八〇	△ 一、五二五	
其他ノ諸品	—	—	—	—	二、一五五	三、二四三	△ 一、〇八八	
計	—	—	—	—	九、〇七三	五、三〇五	△ 三、七六八	

備考 輸出貨物は昭和八、九年共皆無である。

輸移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		増減(△)	價		額	増減(△)
		昭九年	昭八年		昭九年	昭八年		
輕油	ガロン	一〇、五〇〇	三、七五〇	△ 六、七五〇	三、三三三	〇〇〇、一〇〇	△ 一、一三三	
絹織物	方碼	三三、三三〇	二七、八三七	△ 五、四九三	四、四三三	三、〇六一	△ 一、三八八	
石炭	噸	四、五三三	六、八五六	△ 二、三二三	四、〇一五	一、七〇七	△ 二、三〇八	
原木	立方尺	三〇、四七九	三三、四四七	△ 二、九六八	一、〇五六	一、七七一	△ 八八五	
薪材	百斤	二五、二五〇	二六、六八五	△ 一、四三五	一、二六一	一、一〇〇	△ 〇、一六一	
木炭	同	八、八九六	八、八九六	—	二九、七五〇	二五、〇〇七	△ 四、七四三	
其他ノ諸品	—	—	—	—	一八七、四一九	二七、〇九〇	△ 一六〇、三二九	







移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
乾魚	斤	九五,九〇〇	五五,六一六	四〇,二八四	三三,三四五	一三,九二七	一,〇八一
燈油	ガロン	二七,七〇〇	一四,七三五	一三,〇一五	一一,一七九	五,一三五	三,〇〇七
輕油	同	五五,七五〇	四一,〇〇〇	一四,七五〇	一五,〇〇〇	一〇,三七五	四,六二五
機械油	斤	一六三,三九一	一〇六,二四一	五七,一五〇	一一,一九五	六,〇〇二	六,一〇六
炭化石灰	斤	一七六,三〇〇	一一一,九八〇	六四,三二〇	一一,四五〇	一六,〇六六	四,六一六
漁網	同	二〇,二四二	二一,六六六	一,四二四	一七,五八一	三三,〇一〇	一五,〇九九
石炭	噸	三,八三四	三,二八三	五五一	四〇,三三八	三一,七三二	八,六〇七
原木	立方尺	二五二,三七四	一五五,八五八	九六,五一六	八六,八〇八	六〇,三〇〇	二六,五〇〇
木炭	百斤	五,二〇〇	四,六五五	五四五	一三,八六三	一一,〇二四	二,七七九
其他ノ諸品	計	—	—	—	四七五,五八六	三三三,六〇二	一四〇,九八四

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	昭和九年		昭和八年		增減(△)	登簿噸數		增減(△)
	隻	噸	隻	噸		昭和九年	昭和八年	
汽船	二	二	二	二	—	三三	三三	—
帆船	九五三	九五三	九五三	九五三	—	一一,九〇六	一一,九〇六	—
汽船	二	二	二	二	—	〇〇二,二二	〇〇二,二二	—
帆船	九五三	九五三	九五三	九五三	—	一一,九〇六	一一,九〇六	—
出港計	九五三	九五三	九五三	九五三	—	一二,一三九	一二,一三九	—
入港計	九五三	九五三	九五三	九五三	—	一一,九〇六	一一,九〇六	—

濟州 移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
椎茸	斤	七,一四〇	六,六四〇	五〇〇	一一,四一〇	〇九,七〇〇	六,九〇〇
牛皮	斤	—	二五〇	—	—	—	—
貝類	方碼	—	—	—	—	—	—
麻織物	方碼	一七,二八五	九,四三五	七,八五〇	一四,五八四	〇九,七〇〇	一,一四八



其他ノ諸品	計	昭和九年	昭和八年	増減(△)	昭和九年	昭和八年	増減(△)
		六三、〇三三	一三、一五三	△	八、一三六	三、六三六	△
		四九、八八〇	四六、七〇〇	△			

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		増減(△)	價額		増減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
小麥粉	斤	四三、七七八	三〇、一五九	△	四三、四一六	三〇、三八四	△
砂糖	同	一一、〇六一	七、八〇三	△	一三、二九六	九、二九五	△
麥酒	利	三一	七、四一〇	△	〇	二、四九九	△
打綿	百斤	八五	六	△	四、九七六	四、四四〇	△
洋紙	方碼	一五九、七七四	四七、六三八	△	三、八、〇〇三	一〇、九四八	△
石炭	噸	三三、九六五	一八、九六三	△	四、二八三	三、一五四	△
セメント	百斤	三〇一	二六六	△	三、三九一	二、七五八	△
鐵板	斤	三三、六四九	三三、三五五	△	二、九五八	四、三三八	△
木材	斤	—	—	—	一、九三九	六、四三二	△
其他ノ諸品	計	—	—	—	一、〇一七	九三、六七九	△
計	計	—	—	—	三三、〇六三	一、六、七三三	△

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		増減(△)	登簿噸數		増減(△)
	昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
汽船	六	九	△	五六、七九四	五五、七六三	△
帆船	一四	一六	△	三三	二九	△
計	二〇	二五	△	五六、七九四	五五、七六三	△
汽船	六	九	△	三六、〇一一	三五、七六三	△
帆船	一四	一六	△	二〇、七一一	一八、九六八	△
計	二〇	二五	△	五六、七九四	五五、七六三	△

方魚津

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		増減(△)	價額		増減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
鮮魚	斤	四、〇一〇、三五六	三、九三〇、三〇〇	△	一、四、四三〇	一、三、九三七	△
鹹魚	同	一、五、六〇〇	一、〇〇、五二二	△	〇、七、三三三	〇、〇〇、〇〇〇	△



計

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
綿網	斤	—	1,000	△	—	761	△
麻製繩索	同	8,375	10,343	△	21,000	21,100	△
漁網及漁網地	同	9,035	17,033	△	8,800	13,776	△
原木	立方尺	5,328	6,753	△	3,274	3,985	△
薪材	百斤	12,878	14,068	△	5,641	5,491	△
木炭	同	543	1,103	△	1,212	3,016	△
其他ノ諸品	同	—	—	—	—	6,804	△
計	—	—	—	—	34,699	35,942	△

出入港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		增減(△)	登簿噸數		增減(△)
	昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
汽船	64	69	△	2,675	3,309	△
帆船	—	—	—	—	634	△

浦 項

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
玄米	石	177,143	80,249	△	4,241,551	1,641,876	△
精米	同	12,569	14,140	△	2,916,649	3,009,133	△
大豆	同	15,914	10,500	△	2,466,646	1,381,121	△
鮮魚	斤	741,160	2,010,110	△	37,816	92,810	△
乾魚	同	292,456	541,242	△	92,747	119,951	△
牛皮	同	3,638	5,432	△	4,100	6,400	△
乾魚肥料	百斤	2,898	3,649	△	1,423	1,641	△



品名	單位	數量		價額	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
魚糞肥料	百斤	7,009	5,593	1,126	3,633
其他ノ諸品	計			5,108,247	2,456,399
				87,928	93,068
				3,633	5,531
				2,561,888	5,140
				1,071	8,071

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		價額	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
小麥粉	斤	3,003,362	4,590,183	1,566,821	4,918,877
砂糖	同	187,540	255,142	67,601	30,368
麥酒	利	65,951	55,153	8,799	18,329
安全燐寸(小箱入)	百打	6,626	4,740	1,886	24,929
洋紙	斤	107,184	94,088	13,096	23,173
漁網及漁網地	同	23,792	60,084	17,708	46,870
肌衣	噸	11,014	3,384	1,320	34,945
石炭	噸	21,294	27,873	6,578	34,945
セメント	百斤	135,605	97,730	837,125	94,296
鐵條及竿	斤	458,905	530,829	71,924	87,923
鐵板	同				
				100,811	87,923
				9,674	94,296
				31,065	38,798
				33,327	34,945
				54,799	77,127
				20,259	46,870
				37,390	23,173
				28,615	24,929
				22,599	23,173
				17,708	46,870
				54,799	77,127
				1,648,290	1,531,869
				1,648,290	1,531,869
				19,183	23,867
				44,599	6,970
				121,571	6,970
				72,860	10,574
				155,227	77,127
				581,457	49,144
				1,494,431	1,531,869
				1,648,290	1,531,869
				307,056	4,274
				1,512	102
				108,854	102
				108,854	102
				1,334	102
				108,854	102
				1,334	102
				108,854	102
				1,334	102
				108,854	102
				1,334	102

品名	單位	數量		價額	
		昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
窠硝子	方呎	259,500	543,600	284,000	19,183
釘類	斤	457,445	336,074	121,571	37,629
機械類	斤	52,546	34,957	17,589	6,970
肥料	百斤				
其他ノ諸品	計				
				1,494,431	1,648,290
				1,648,290	1,531,869
				19,183	23,867
				44,599	6,970
				121,571	6,970
				72,860	10,574
				155,227	77,127
				581,457	49,144
				1,494,431	1,531,869
				1,648,290	1,531,869
				307,056	4,274
				1,512	102
				108,854	102
				108,854	102
				1,334	102
				108,854	102
				1,334	102
				108,854	102
				1,334	102

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		噸數	
	昭和九年	昭和八年	昭和九年	昭和八年
汽船	273	273	307,056	302,784
帆船	46	47	1,512	1,523
計	319	320	308,568	304,307
汽船	273	273	307,056	302,784
帆船	46	47	1,512	1,523
計	319	320	308,568	304,307
汽船	273	273	307,056	302,784
帆船	46	47	1,512	1,523
計	319	320	308,568	304,307

道 洞



移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
大豆	石	四一七	五九五	△	五,二二八	八,一三〇	△
鮮魚	斤	六,〇三〇	二,四九九	△	二,一三六	七,四七〇	△
乾魚	斤	二,〇一九	三,四〇〇	△	七,五八三	八,四五六	△
鹹魚	斤	一,四〇〇	九,〇〇〇	△	八,三三九	二,九九八	△
家畜	同	二,四七〇	二,七一九	△	一,三三〇	四,〇一〇	△
其他ノ諸品	同	—	—	—	六,三〇一	七,三九七	△
計	—	—	—	—	二,〇二〇	三〇,二二〇	△

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
米	百斤	一七〇	一〇一	△	一,八六六	一,一八九	△
燈油	ガロン	二,〇四五	二,九七六	△	一,一四五	一,八五五	△
機油	斤	三,三四四	三,〇三三	△	二,三三三	九三九	△

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		增減(△)	登簿噸數		增減(△)
	昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
汽船	三	三	—	二,六七〇	二,五八九	△
帆船	—	六	△	—	一四七	—
計	三	九	△	二,六七〇	二,七三七	△
汽船	三	三	—	二,七九三	二,八〇〇	△
帆船	—	二	△	—	六八	—
計	三	五	△	二,七九三	二,八六八	△

蔚山飛行場



移出主要品二年比較表

品名	數量		增減(△)	價額		增減(△)
	昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
計	—	—	—	—	—	—
雜品	—	—	—	—	—	—
諸機	—	—	—	—	—	—
品械	—	—	—	—	—	—

移入主要品二年比較表

品名	數量		增減(△)	價額		增減(△)
	昭和九年	昭和八年		昭和九年	昭和八年	
計	—	—	—	—	—	—
電信、電話機及同部分品	—	—	—	—	—	—
機械類	—	—	—	—	—	—
其他ノ諸品	—	—	—	—	—	—

飛行機發着機數二年比較表

着離別	昭和九年	昭和八年	增減(△)
着	—	—	—
離	—	—	—
計	—	—	—

備考 本表中陸海軍機、本年着陸一一二機、離陸六七機、前年着陸二八機、離陸二四機を含む。

稅關所在地外不開港 (慶尙南道、慶尙北道)

移出入貿易額二年對照表 (圓)

港名	昭和九年		計	昭和八年		計
	移出	移入		移出	移入	
丑山	—	—	—	—	—	—
大冬背	—	—	—	—	—	—
九萬洞	—	—	—	—	—	—
九龍浦	—	—	—	—	—	—
甘浦	—	—	—	—	—	—
大邊浦	—	—	—	—	—	—
長生浦	—	—	—	—	—	—



第十二管內各港貿易概況

長	菱	城	欲	彌	固	舊	江	三	竹	大	玉	船	壯	巨	計
浦	浦	浦	助	城	羅	口	浦	里	浦	浦	浦	浦	浦	浦	計
二四六、四七八	一七九、三六九	九、九五〇	五八、七三五	三七八、二七四			八七、九九三	一〇、三五五	一、六八〇	二〇、七〇〇					二七、一四七、二
一五、六九七	一五、九六〇	五、八七〇	五、二九〇				三九六	一、〇九六							二〇〇、九
二六二、一七五	一九五、三三九	一五、八三〇	六三、〇二五	三七八、二七四			八八、三八九	一一、四四四	一、六八〇	三〇、七七四					一三、八〇四、二
三四一、八四三	一四九、九〇二	四、二五六	二三七、五七九	二七四、五六〇			二九、八四三	五、六〇四	三、六八七	四、九三二					三、四、四、四、四
一〇、四九七	二〇、三〇〇	六、四四〇	二、五八五	九八六			九六一	一三、七〇〇							一〇、三、三、三
三、三、三、三	一、七、一、三、三	一〇、六、六、六	二、〇、〇、〇	二、七、五、五			一〇、八、八、八	一、九、三、三	三、六、六、七	七、〇、七、〇					三、三、三、三、三



昭和十年九月廿五日印刷  
昭和十年十月一日發行

釜 山 稅 關

釜山府富平町一丁目四三番地

印刷所 上田印刷所



14.2<sup>n</sup>  
88



終